

周 南 市
市民アンケート
調 査
報 告 書

令和6年6月
周南市

目次

I. 市民アンケート調査の実施概要	1
1. 調査の概要	1
II. アンケート調査の結果	2
1. 回答者属性	2
2. 周南市での暮らしについて	4
3. 今後のまちづくりについて	28
4. まちづくりへのご意見やご要望など(自由記述)	38
資料: アンケート調査票	39

I. 市民アンケート調査の実施概要

1. 調査の概要

(1) 目的

第3次周南市まちづくり総合計画の策定にあたり、市民のニーズや満足度、市政に対する考えを把握し、計画策定の基礎資料とするため、市民アンケートを実施しました。

(2) 対象

令和5(2023)年8月1日現在、市内に在住する18歳以上の方(約11万8千人)の中から、無作為に抽出した4,000人。

(3) 方法

郵送配付し、郵送またはWeb回答にて回収しました。なお、回答は宛名本人が記入することを原則としましたが、本人が記入できない場合は、代筆可能としました。

(4) 期間

令和5年8月30日(水)から9月22日(金)まで。

(5) 配付・回収状況

回収率は、47.1%で、前回調査(43.5%)より 3.6%上回っています。

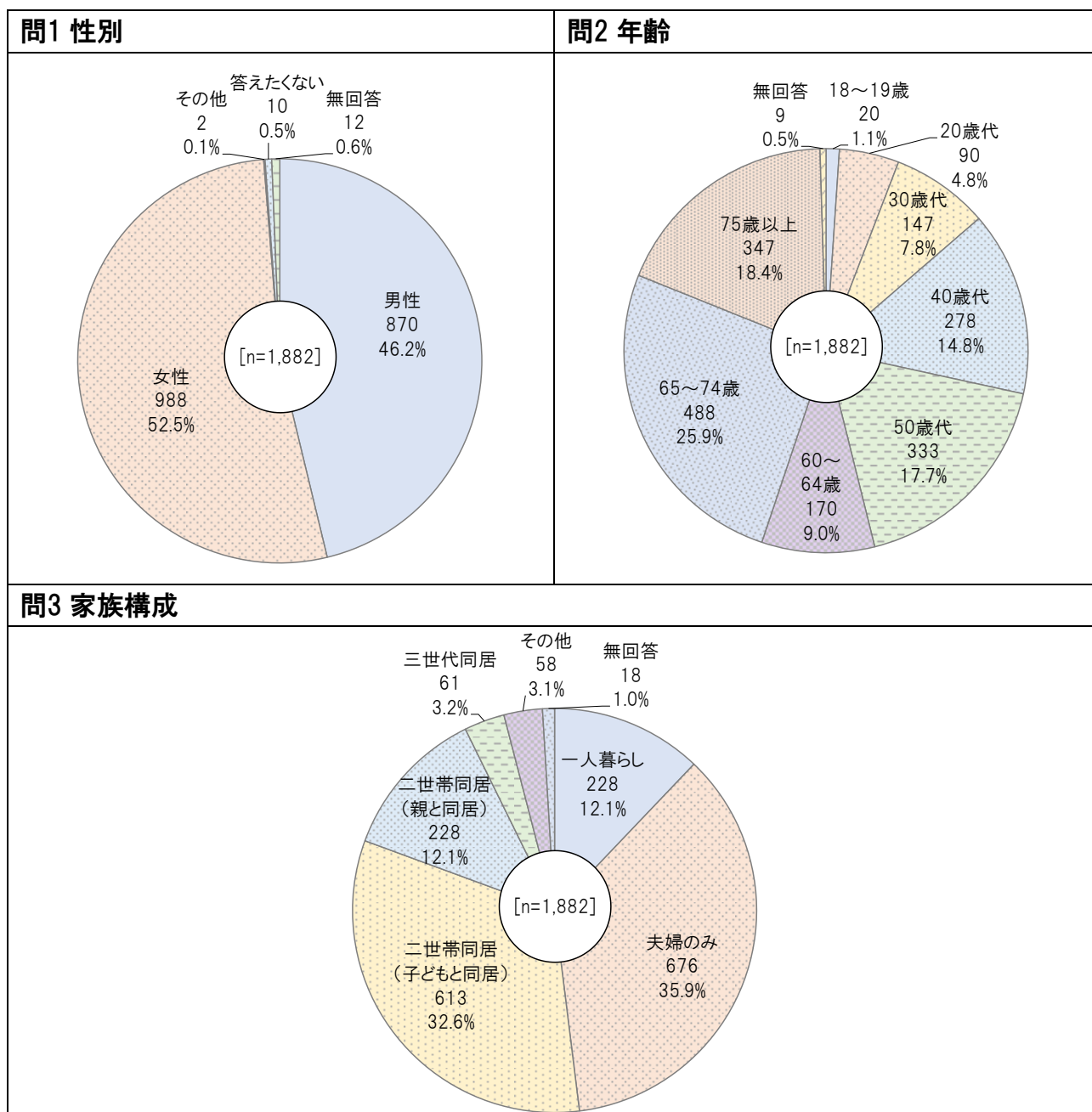
調査年		配付数 (件)	回収数 (件)			回収率 (%)
			郵送	Web	合計	
令和5年 (2023)		4,000	1,491	391	1,882	47.1
参考	平成30年 (2018)	3,000	1,306	-	1,306	43.5

〔調査結果利用上の注意〕

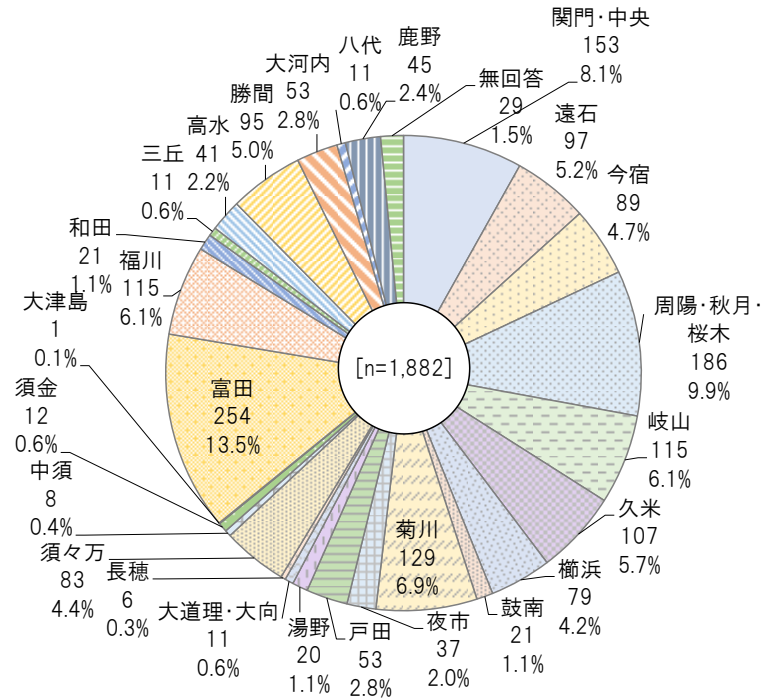
- ・本調査は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行して間もない時期に実施しています。従って、コロナ禍での生活様式や価値観の変化等により、これまで実施してきたアンケート結果と異なる傾向や数値が現れる可能性があります。
- ・無回答や端数処理により、各項目の合計欄が一致しない場合があります。
- ・複数回答の質問では、回答比率の合計が100%と一致しません。
- ・数表や図表は、文言を省略している場合があります。

Ⅱ. アンケート調査の結果

1. 回答者属性

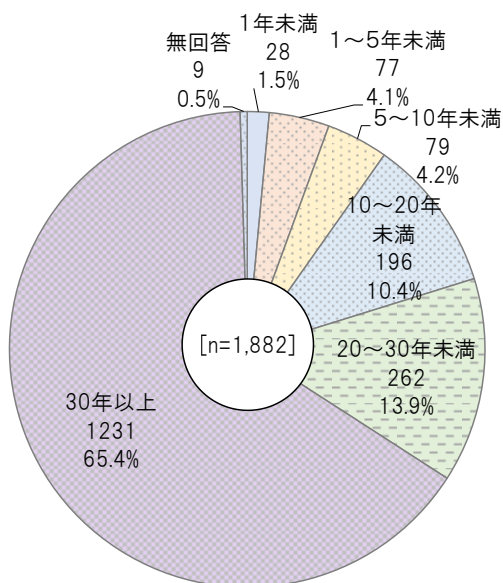


問4 居住地区

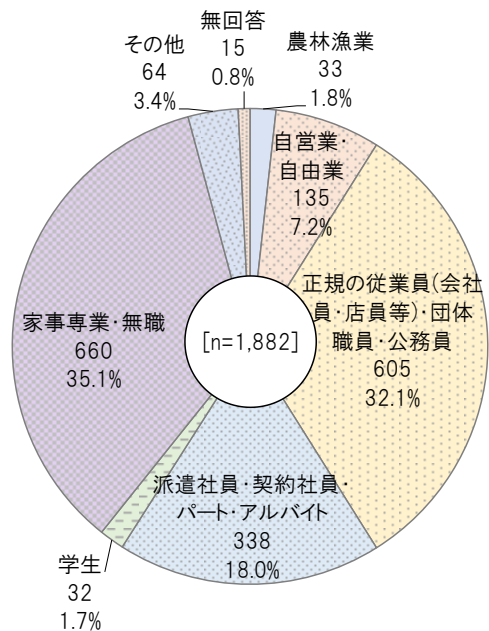


区域	地区
市街地	関門・中央、遠石、今宿、周陽・秋月・桜木、岐山、久米、櫛浜、富田、福川
市街地周辺	鼓南、菊川、夜市、戸田、湯野、勝間、大河内
中山間地域	大道理・大向、長穂、須々万、中須、須金、大津島、和田、三丘、高水、八代、鹿野

問5 居住年数



問6 職業(雇用形態)

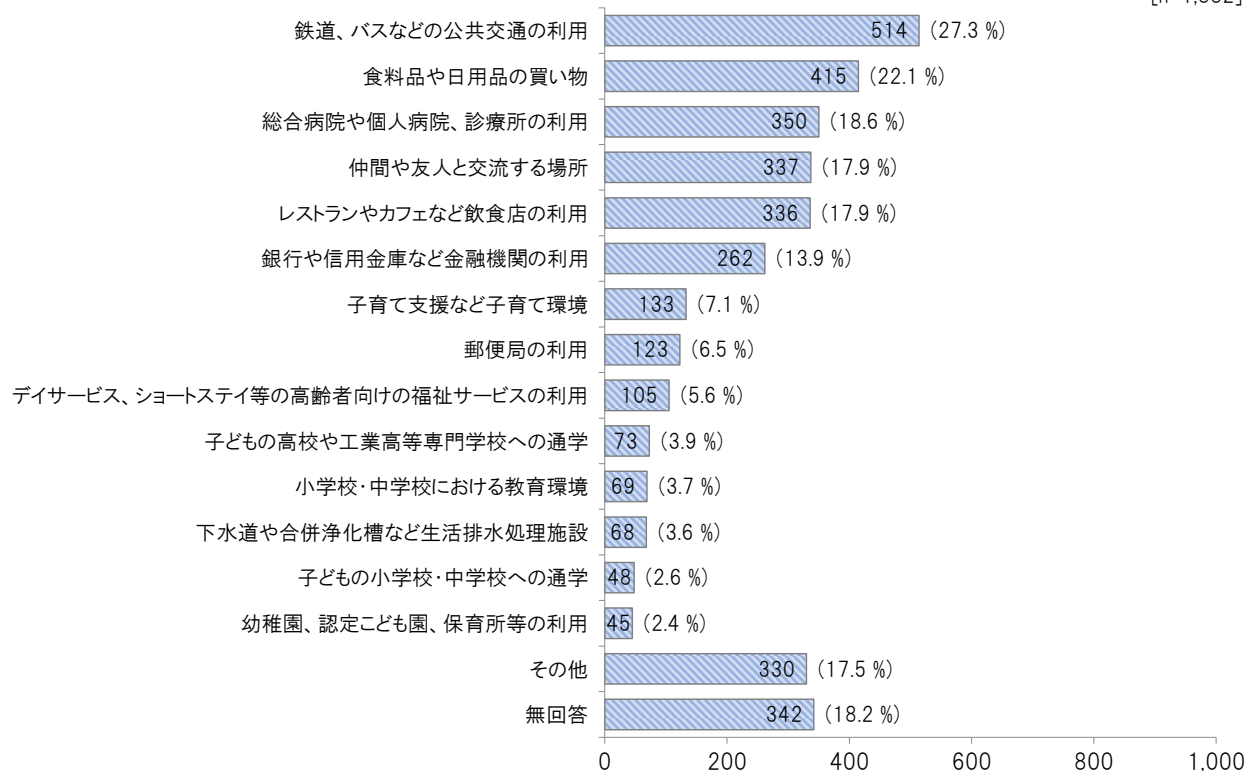


2. 周南市での暮らしについてのお考えをお伺いします

問7 あなたが日常生活で困っていることは何ですか。(複数回答)

- 「鉄道、バスなどの公共交通の利用:514(27.3%)」が最も多く、次いで「食料品や日用品の買い物:415(22.1%)」「総合病院や個人病院、診療所の利用:350(18.6%)」となっている。

[n=1,882]



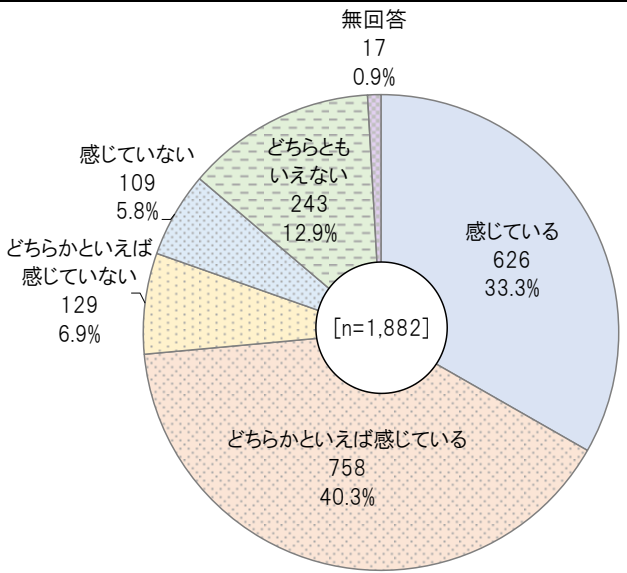
【クロス集計:居住地区】

- 「鉄道、バスなどの公共交通の利用」はいずれの地域も高く、中山間地域では「総合病院や個人病院、診療所の利用」が最も多い。

	合計	市街地	市街地周辺	中山間地域	無回答
合計	1,882	1,195	408	250	29
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
食料品や日用品の買い物	415	225	127	61	2
	22.1%	18.8%	31.1%	24.4%	6.9%
レストランやカフェなど飲食店の利用	336	202	82	50	2
	17.9%	16.9%	20.1%	20.0%	6.9%
銀行や信用金庫など金融機関の利用	262	133	89	39	1
	13.9%	11.1%	21.8%	15.6%	3.4%
郵便局の利用	123	71	41	8	3
	6.5%	5.9%	10.0%	3.2%	10.3%
総合病院や個人病院、診療所の利用	350	168	101	79	2
	18.6%	14.1%	24.8%	31.6%	6.9%
幼稚園、認定こども園、保育所等の利用	45	37	3	4	1
	2.4%	3.1%	0.7%	1.6%	3.4%
子育て支援など子育て環境	133	96	21	15	1
	7.1%	8.0%	5.1%	6.0%	3.4%
子どもの小学校・中学校への通学	48	27	10	11	0
	2.6%	2.3%	2.5%	4.4%	0.0%
小学校・中学校における教育環境	69	51	10	8	0
	3.7%	4.3%	2.5%	3.2%	0.0%
子どもの高校や工業高等専門学校への通学	73	27	16	29	1
	3.9%	2.3%	3.9%	11.6%	3.4%
デイサービス、ショートステイ等の高齢者向けの福祉サービスの利用	105	72	22	11	0
	5.6%	6.0%	5.4%	4.4%	0.0%
仲間や友人と交流する場所	337	223	65	46	3
	17.9%	18.7%	15.9%	18.4%	10.3%
鉄道、バスなどの公共交通の利用	514	297	136	78	3
	27.3%	24.9%	33.3%	31.2%	10.3%
下水道や合併浄化槽など生活排水処理施設	68	28	13	25	2
	3.6%	2.3%	3.2%	10.0%	6.9%
その他	330	236	57	30	7
	17.5%	19.7%	14.0%	12.0%	24.1%
無回答	342	230	62	39	11
	18.2%	19.2%	15.2%	15.6%	37.9%

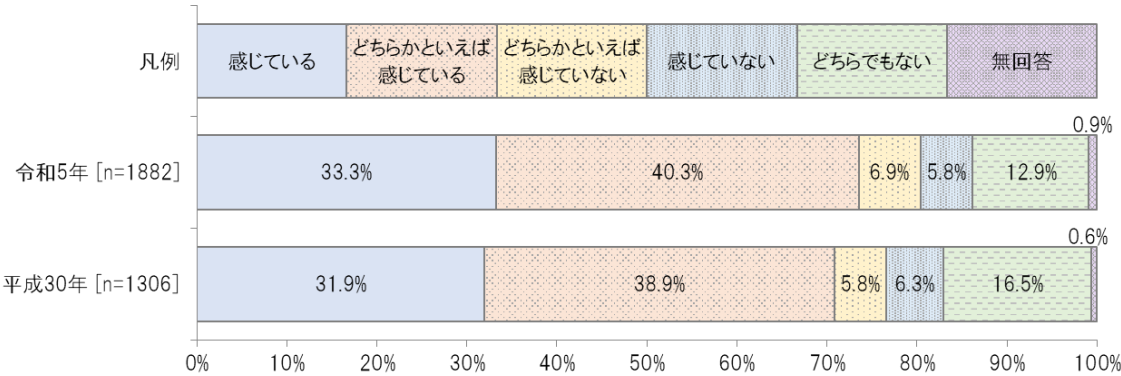
問8 周南市に愛着を感じていますか。

- 「どちらかといえば感じている:758(40.3%)」が最も多く、次いで「感じている:626(33.3%)」「どちらともいえない:243(12.9%)」となっている。



【経年比較】

- 令和5年調査では、平成30年調査と比較して、「感じている」「どちらかといえば感じている」は多くなっている。



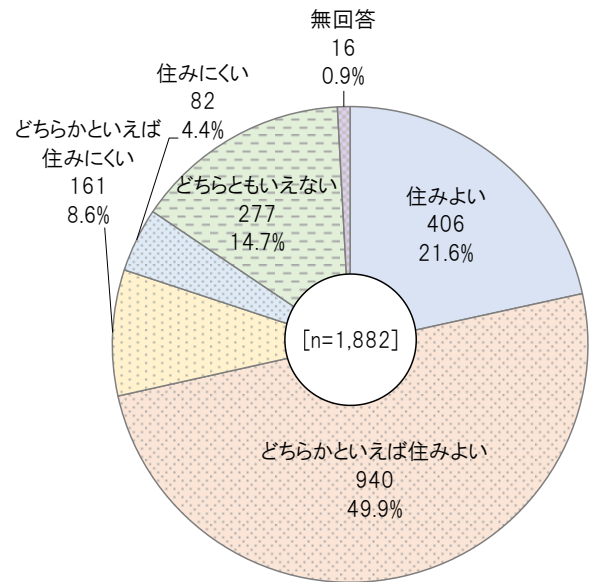
【クロス集計:居住地区】

- 市街地では「感じている」が他の居住地区と比較して多い。

	合計	感じている	どちらかといえ ば感じている	どちらかといえ ば感じていない	感じていない	どちらともいえ ない	無回答
合計	1,882	626	758	129	109	243	17
	100.0 %	33.3 %	40.3 %	6.9 %	5.8 %	12.9 %	0.9 %
市街地	1,195	423	478	68	67	155	4
	100.0 %	35.4 %	40.0 %	5.7 %	5.6 %	13.0 %	0.3 %
市街地周辺	408	119	174	40	24	47	4
	100.0 %	29.2 %	42.6 %	9.8 %	5.9 %	11.5 %	1.0 %
中山間地域	250	74	100	20	16	38	2
	100.0 %	29.6 %	40.0 %	8.0 %	6.4 %	15.2 %	0.8 %
無回答	29	10	6	1	2	3	7
	100.0 %	34.5 %	20.7 %	3.4 %	6.9 %	10.3 %	24.1 %

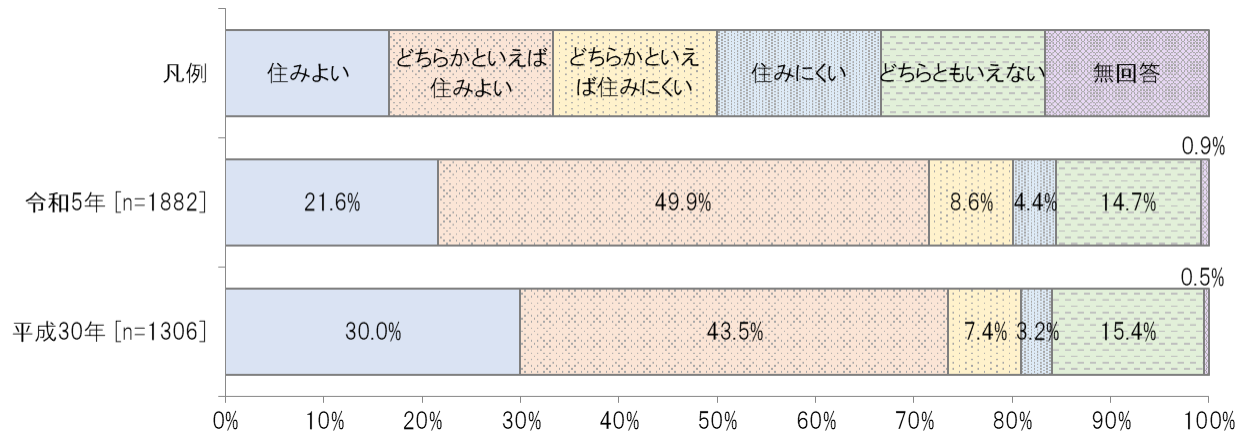
問9 周南市は住みよいと思いますか。

- 「どちらかといえば住みよい:940(49.9%)」が最も多く、次いで「住みよい:406(21.6%)」「どちらともいえない:277(14.7%)」となっている。



【経年比較】

- 令和5年調査と平成30年調査を比較すると「住みよい」が減少し、「どちらかといえば住みよい」が増加している。



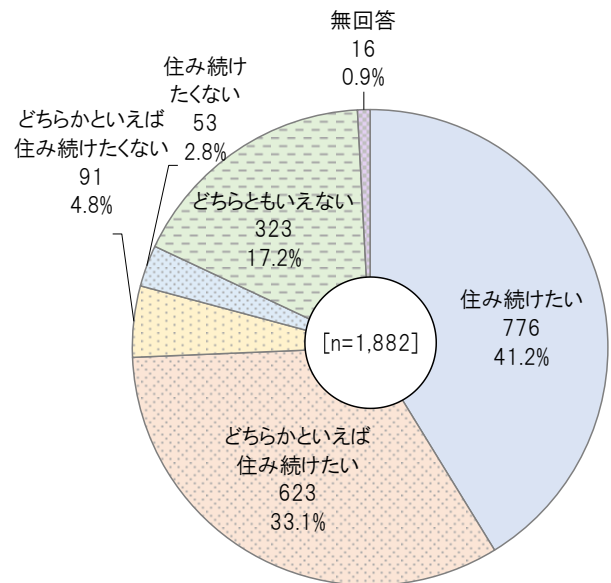
【クロス集計:居住地区】

- 市街地では「住みよい」が他の居住地区と比較して多い。

	合計	住みよい	どちらかといえば住みよい	どちらかといえば住みにくい	住みにくい	どちらともいえない	無回答
合計	1,882	406	940	161	82	277	16
	100.0 %	21.6 %	49.9 %	8.6 %	4.4 %	14.7 %	0.9 %
市街地	1,195	293	599	83	52	161	7
	100.0 %	24.5 %	50.1 %	6.9 %	4.4 %	13.5 %	0.6 %
市街地周辺	408	58	214	49	16	69	2
	100.0 %	14.2 %	52.5 %	12.0 %	3.9 %	16.9 %	0.5 %
中山間地域	250	44	121	27	13	45	0
	100.0 %	17.6 %	48.4 %	10.8 %	5.2 %	18.0 %	0.0 %
無回答	29	11	6	2	1	2	7
	100.0 %	37.9 %	20.7 %	6.9 %	3.4 %	6.9 %	24.1 %

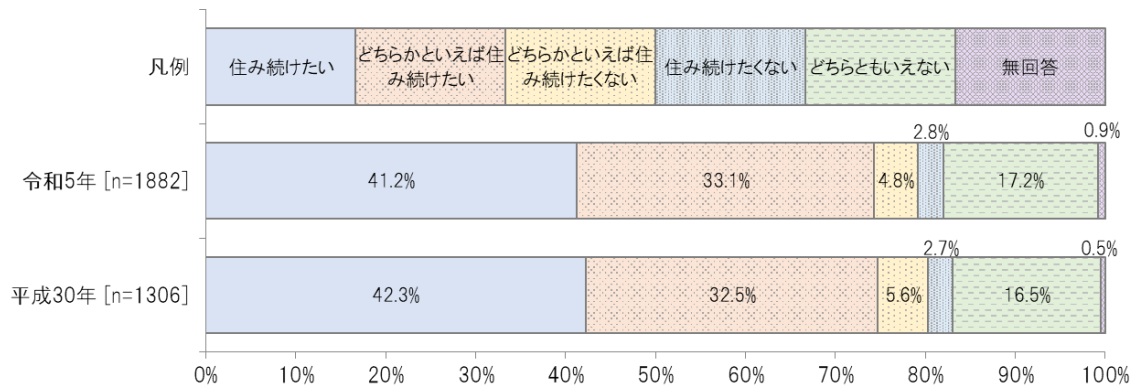
問10 これからも周南市に住み続けたいと思いますか。

- 「住み続けたい:776(41.2%)」が最も多く、次いで「どちらかといえば住み続けたい:623(33.1%)」「どちらともいえない:323(17.2%)」となっている。



【経年比較】

- 令和5年調査と平成30年調査を比較すると、すべての項目で、ほぼ横ばいである。



【クロス集計:居住地区】

- 市街地では「住み続けたい」が他の居住地区と比較して多い。

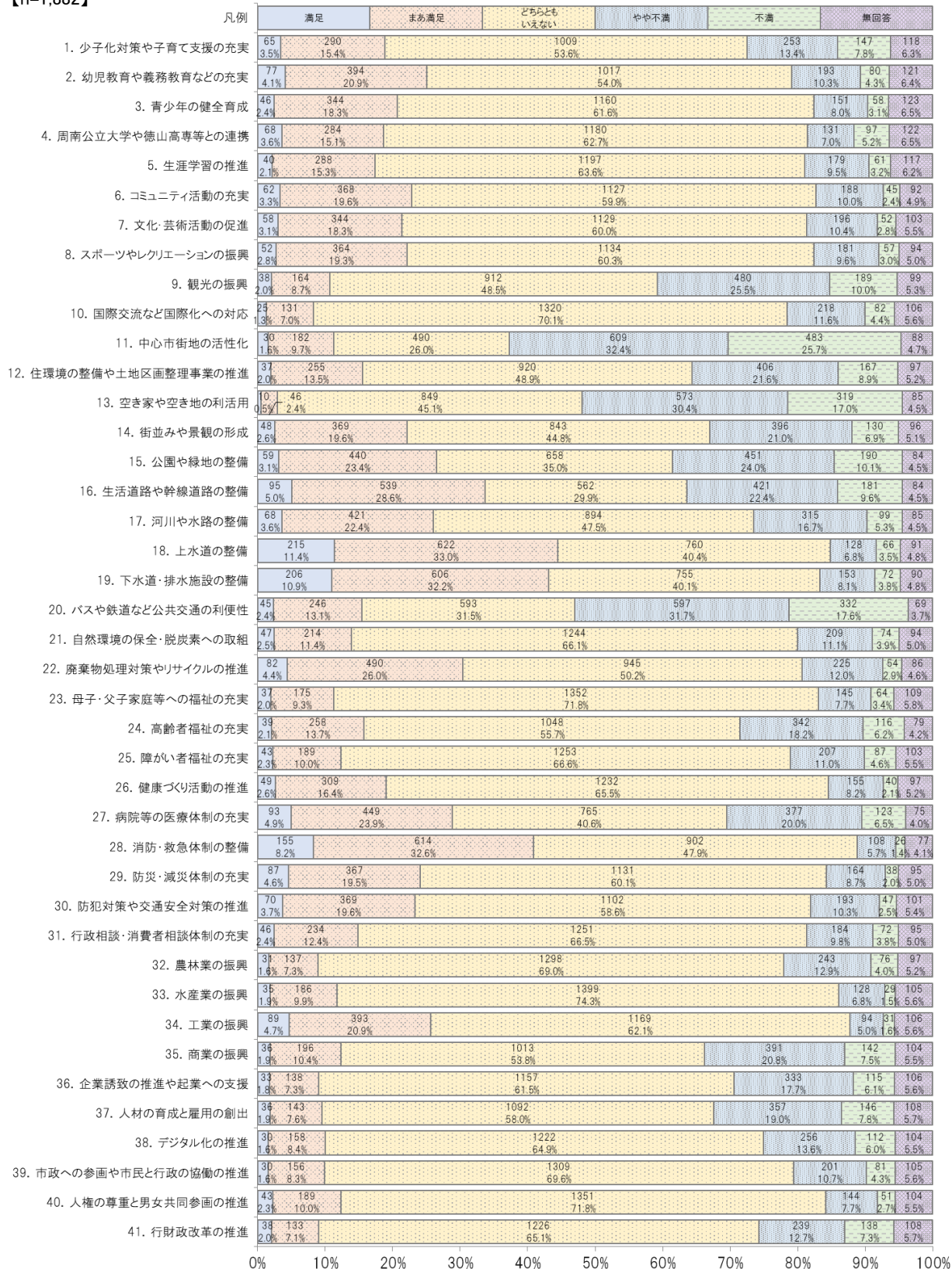
	合計	住み続けたい	どちらかといえ ば住み続けたい	どちらかといえ ば住み続けたく ない	住み続けたくな い	どちらともいえ ない	無回答
合計	1,882	776	623	91	53	323	16
	100.0 %	41.2 %	33.1 %	4.8 %	2.8 %	17.2 %	0.9 %
市街地	1,195	501	402	56	36	192	8
	100.0 %	41.9 %	33.6 %	4.7 %	3.0 %	16.1 %	0.7 %
市街地周辺	408	164	138	19	10	76	1
	100.0 %	40.2 %	33.8 %	4.7 %	2.5 %	18.6 %	0.2 %
中山間地域	250	100	77	15	6	52	0
	100.0 %	40.0 %	30.8 %	6.0 %	2.4 %	20.8 %	0.0 %
無回答	29	11	6	1	1	3	7
	100.0 %	37.9 %	20.7 %	3.4 %	3.4 %	10.3 %	24.1 %

問11 以下の項目について、あなたが感じている現在の「満足度」と今後の生活にとっての「重要度」を教えてください。

満足度

- 「満足」「まあ満足」の回答は、「上水道の整備：837(44.4%)」が最も多く、次いで「下水道・排水施設の整備：812(43.1%)」「消防・救急体制の充実：769(40.8%)」となっている。
- 「やや不満」「不満」の回答は、「中心市街地の活性化：1,092(58.1%)」が最も多く、次いで「バスや鉄道など公共交通の利便性：929 (49.3%)」「空き家や空き地の利活用：892(47.4%)」となっている。

【n=1,882】

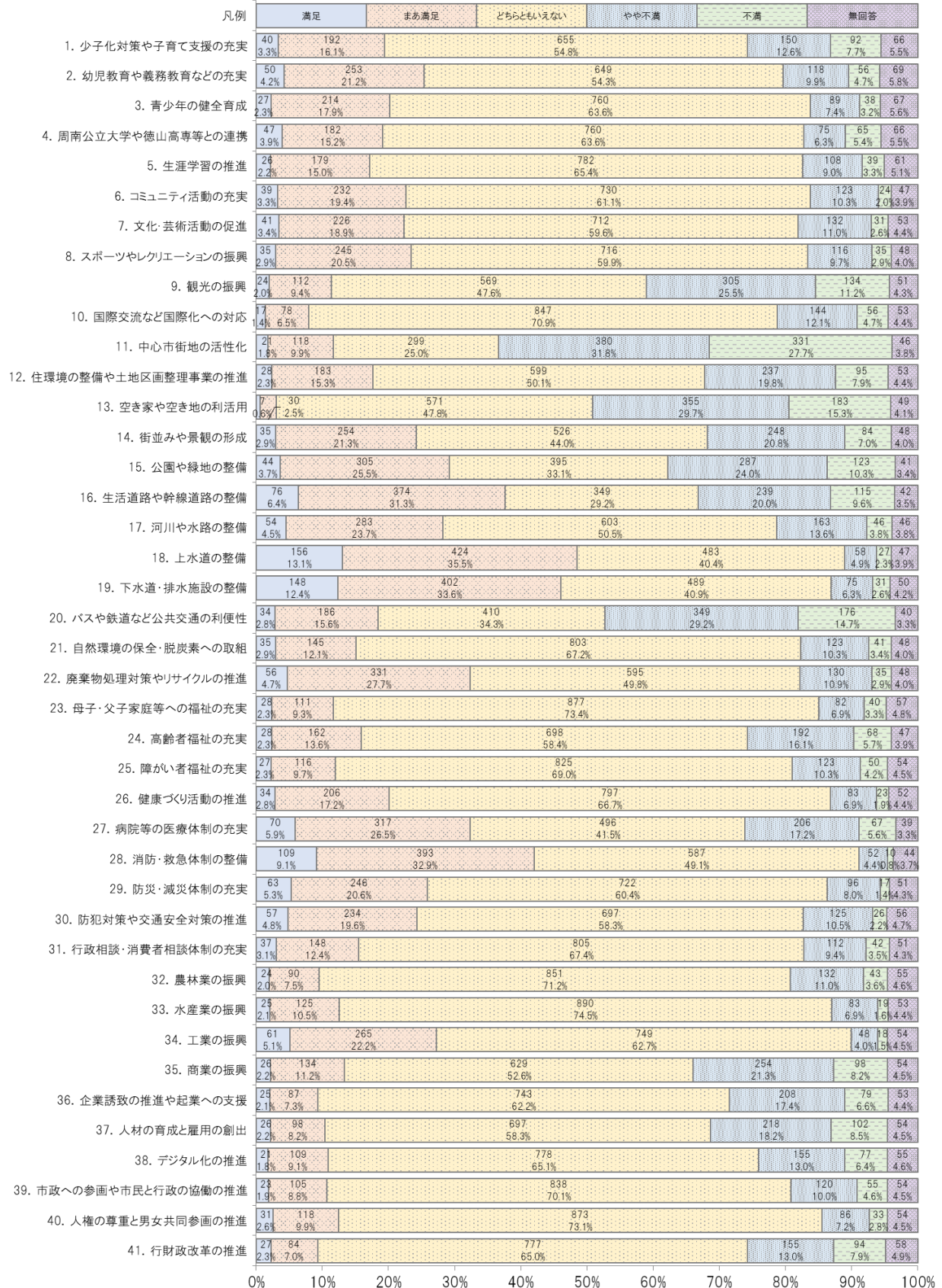


【クロス集計:居住地区】

- 「満足」「まあ満足」の回答は、市街地では「上水道の整備：580(48.6%)」、市街地周辺では「下水道・排水施設の整備：169(41.4%)」、中山間地域では「消防・救急体制の充実：95(38.0%)」が最も多い。
- 「やや不満」「不満」の回答は、市街地では「中心市街地の活性化」が最も多く、市街地周辺、中山間地域では「バスや鉄道など公共交通の利便性」が最も多い。

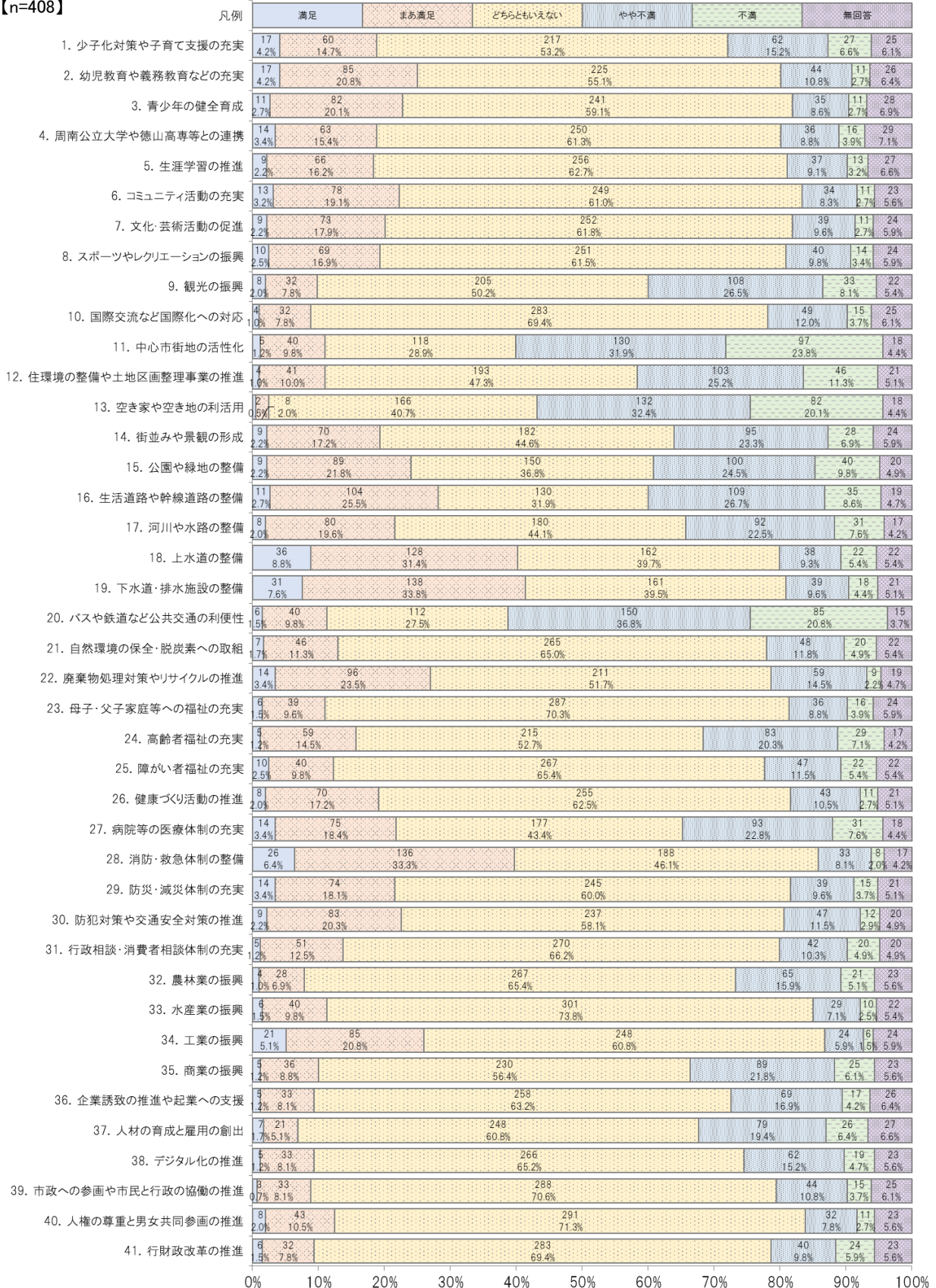
(市街地)

【n=1,195】



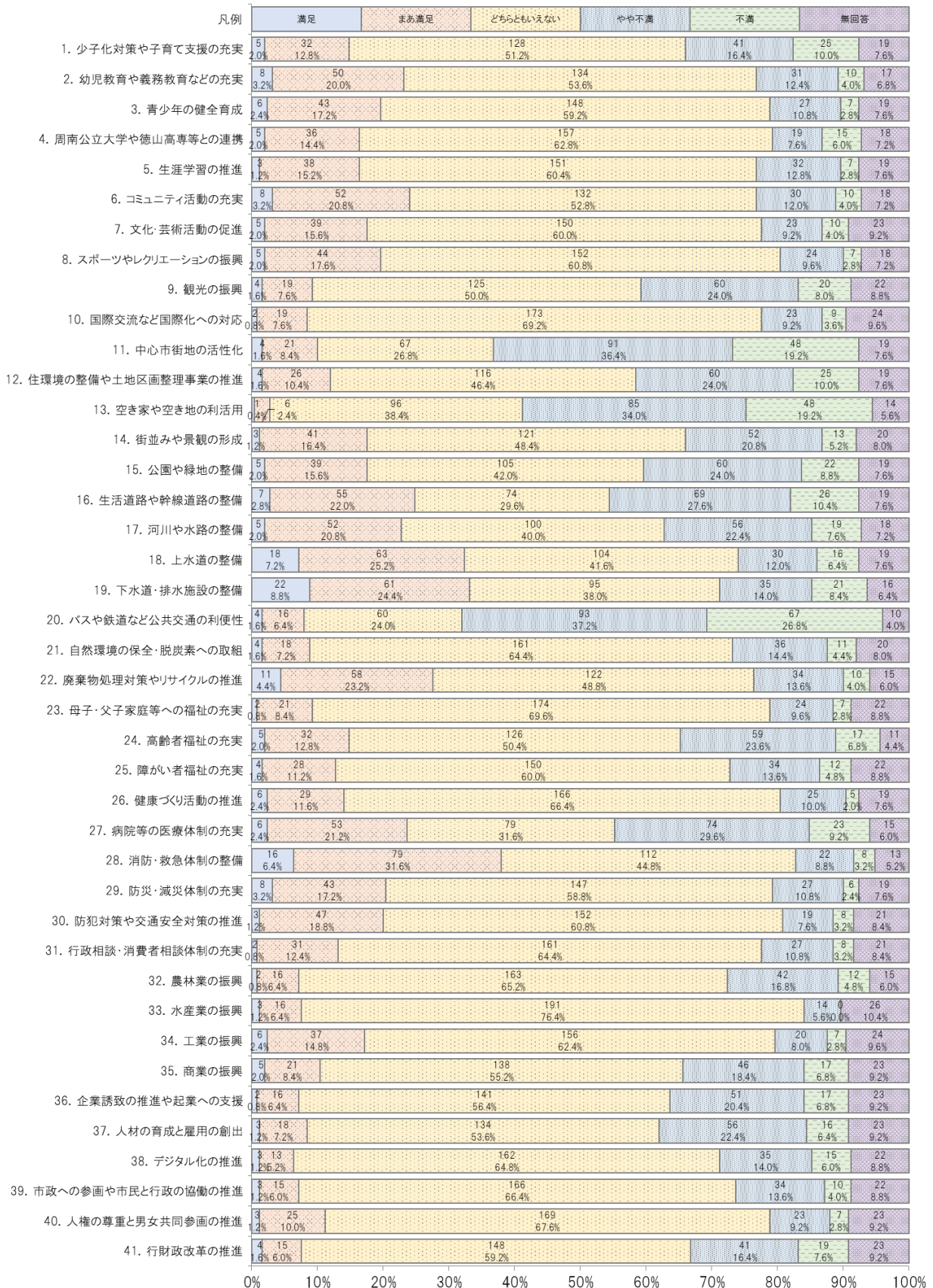
(市街地周辺)

【n=408】



(中山間地域)

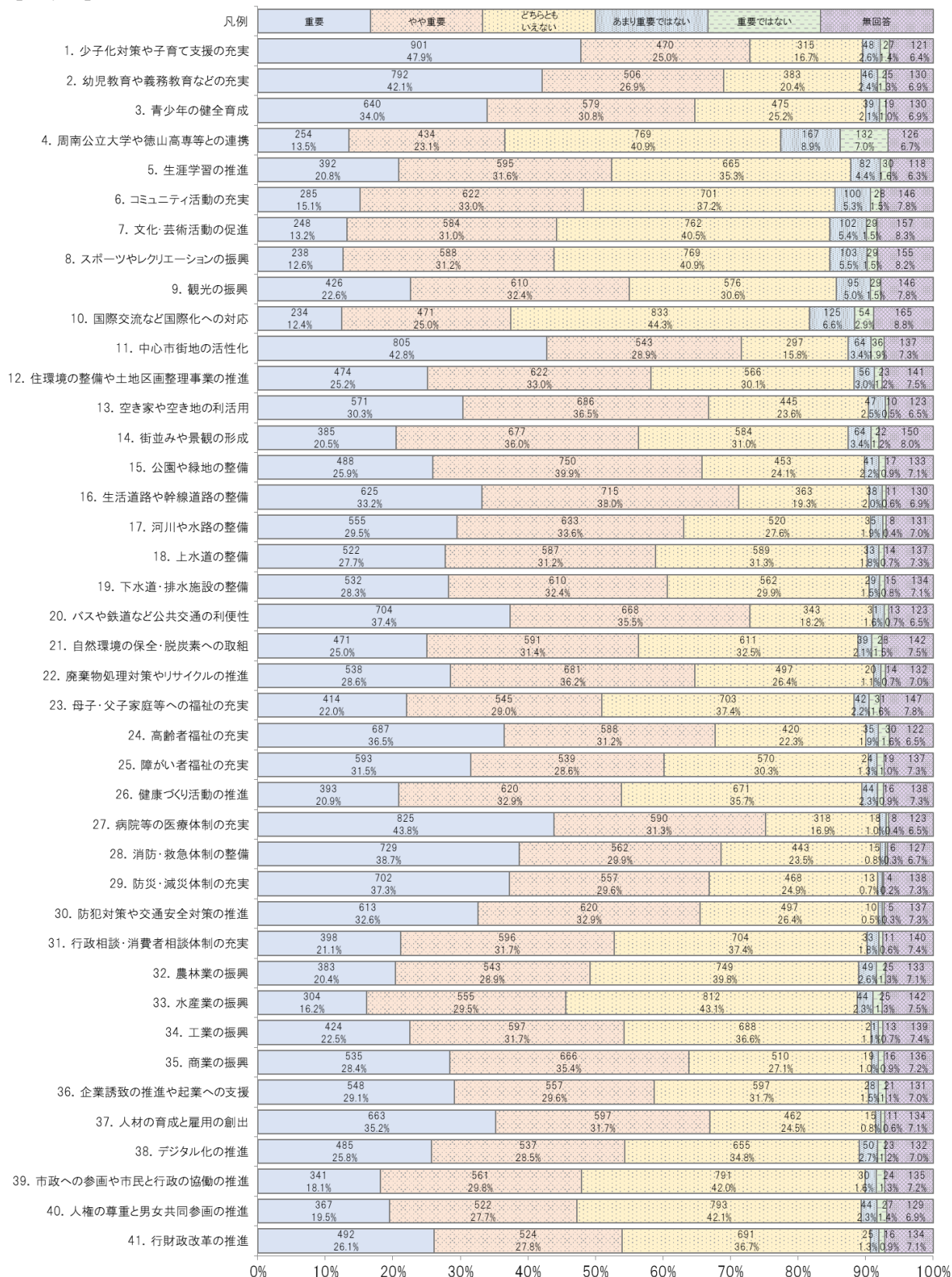
【n=250】



重要度

- 「重要」「やや重要」の回答は、「病院等の医療体制の充実：1,415(75.1%)」が最も多く、次いで「バスや鉄道など公共交通の利便性：1,372(72.9%)」「少子化対策や子育て支援の充実：1,371(72.9%)」となっている。
- 「あまり重要ではない」「重要ではない」の回答は、「周南公立大学や徳山高専等との連携：299(15.9%)」が最も多く、次いで「国際交流などの国際化への対応：179(9.5%)」「スポーツやレクリエーションの振興：132(7.0%)」となっている。

【n=1,882】

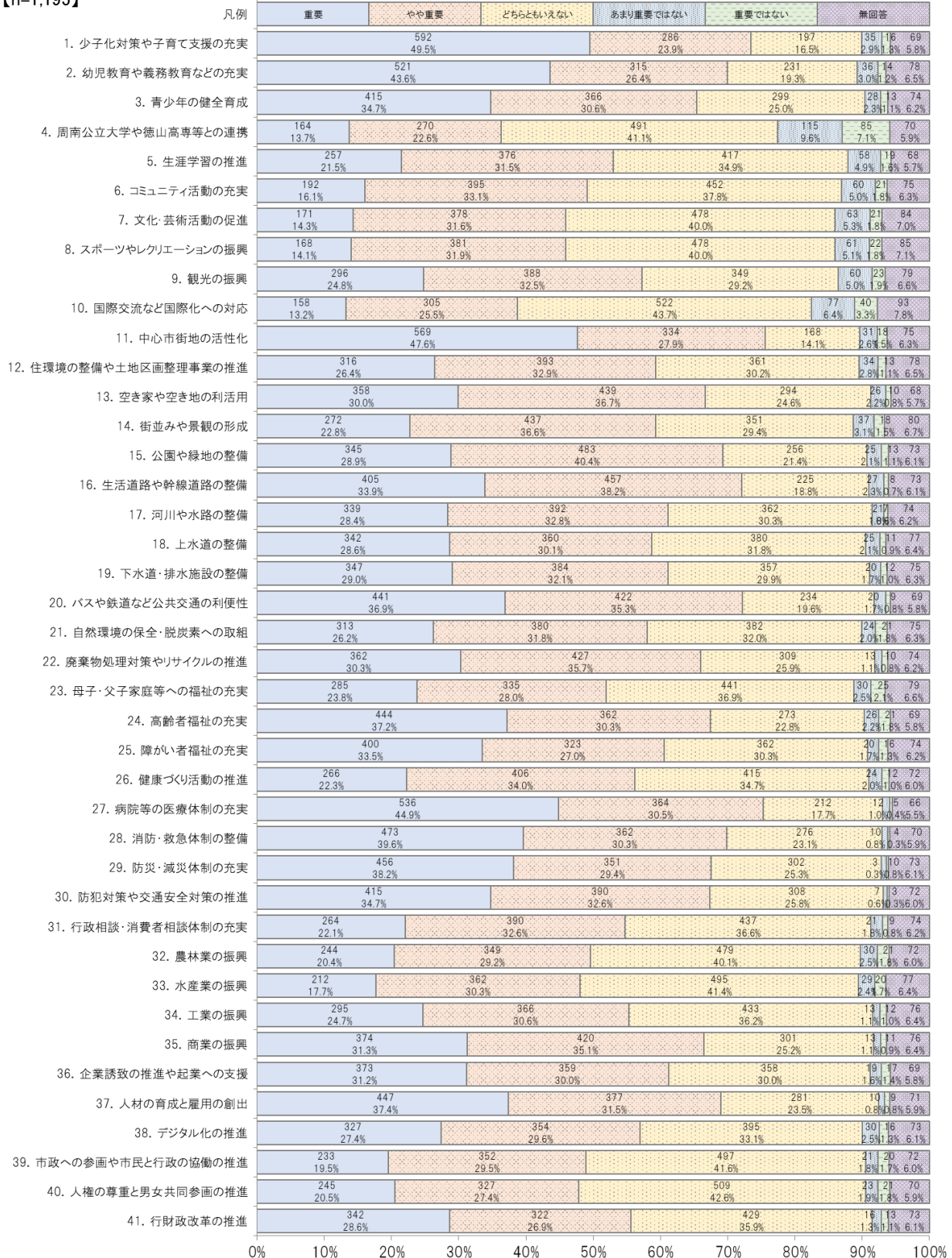


【クロス集計:居住地区】

- 「重要」「やや重要」の回答は、市街地では「中心市街地の活性化：903(75.5%)」、市街地周辺では「バスや鉄道など公共交通の利便性：314(77.0%)」、中山間地域では「病院との医療体制の充実：187(74.8%)」となっている。
- 「あまり重要ではない」「重要ではない」の回答は、居住地区によらず「周南公立大学や徳山高専等との連携」が最も多く、中山間地域では「国際交流などの国際化への対応」も多い。

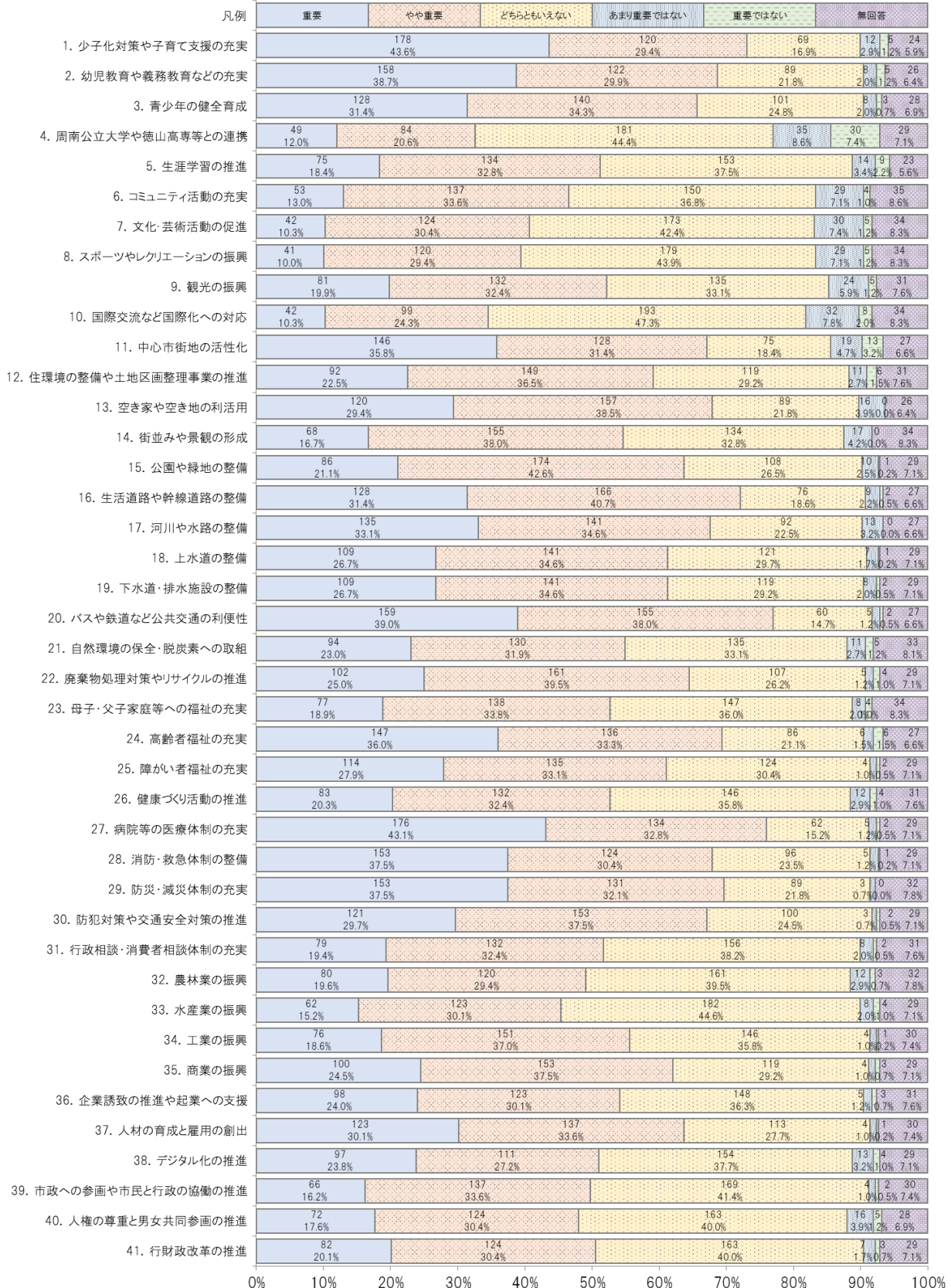
(市街地)

【n=1,195】



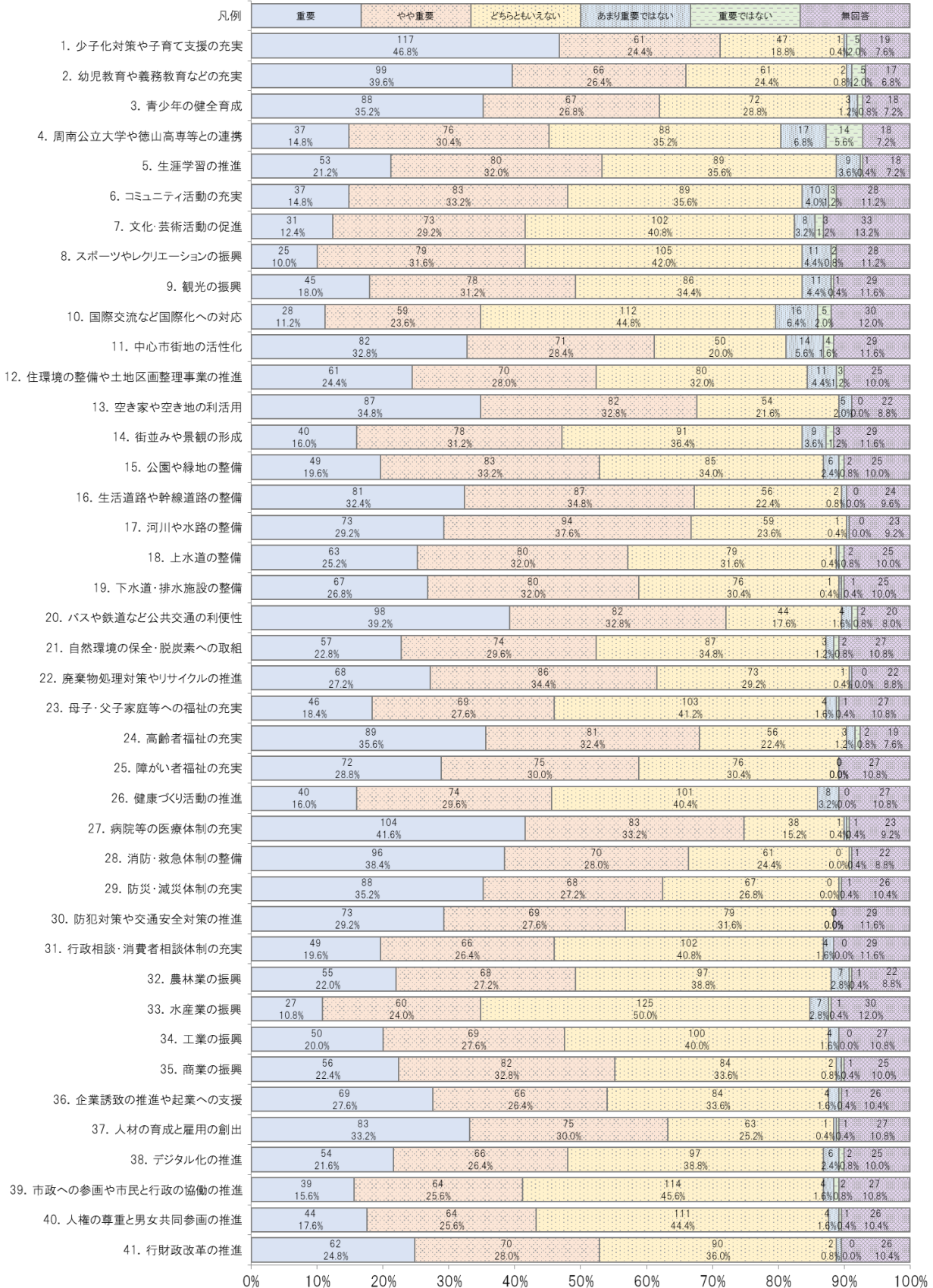
(市街地周辺)

【n=408】



(中山間地域)

【n=250】



(満足度・重要度の分析)

問11 では、以下のとおり選択肢を基に各項目を評価する点数(以下「評価点」という。)をつけて、その平均値で満足度と重要度を比較します。評価点が大きければ満足度(重要度)は高く、小さければ満足度(重要度)は低くなります。

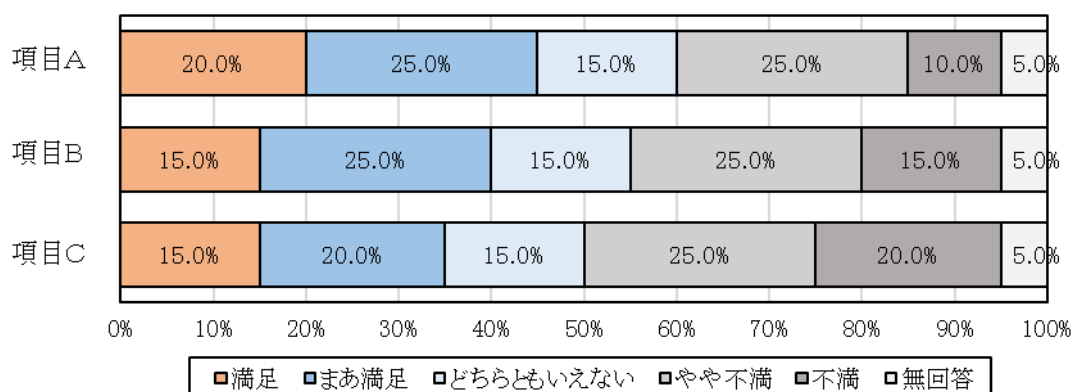
満 足 度	
選 択 肢	点 数
満 足	10
まあ満足	5
どちらともいえない	0
やや不満	-5
不 満	-10

重 要 度	
選 択 肢	点 数
重 要	10
やや重要	5
どちらともいえない	0
あまり重要でない	-5
重要でない	-10

●評価点の算出方法(加重平均)※ 満足度を例にしていますが、重要度も同じです。

$$\{(\text{「満足」の数} \times 10) + (\text{「まあ満足」の数} \times 5) + (\text{「どちらともいえない」の数} \times 0) + (\text{「やや不満」の数} \times (-5)) + (\text{「不満」の数} \times (-10))\} \div \text{「無回答を除く回答者の数」}$$

例:回答者100人から、以下のような回答結果があった場合



・項目A … 評価点 1.05 ※項目A～Cのうち Aの満足度が一番高い。

$$\{(20 \times 10) + (25 \times 5) + (15 \times 0) + (25 \times (-5)) + (10 \times (-10))\} \div 95 = 1.05$$

・項目B … 評価点 0.00

$$\{(15 \times 10) + (25 \times 5) + (15 \times 0) + (25 \times (-5)) + (15 \times (-10))\} \div 95 = 0.00$$

・項目C … 評価点 -0.79 ※項目A～Cのうち Cの満足度が一番低い。

$$\{(15 \times 10) + (20 \times 5) + (15 \times 0) + (25 \times (-5)) + (20 \times (-10))\} \div 95 = -0.79$$

①現在の満足度について

全体では、「上水道の整備」が最も満足度が高く、次いで、「消防・救急体制の整備」、「下水道・排水施設の整備」となっている。

居住地区別にみると、市街地では「上水道の整備」、市街地周辺、中山間地域では、「消防・救急体制の整備」の満足度が高くなっている。

順位	全 体		市街地		市街地周辺		中山間地域	
1位	上水道の整備	2.21	上水道の整備	2.72	消防・救急体制の整備	1.78	消防・救急体制の整備	1.54
2位	消防・救急体制の整備	2.12	下水道・排水施設の整備	2.45	下水道・排水施設の整備	1.61	上水道の整備	0.80
3位	下水道・排水施設の整備	2.01	消防・救急体制の整備	2.34	上水道の整備	1.53	下水道・排水施設の整備	0.60
4位	工業の振興	1.17	工業の振興	1.33	工業の振興	1.18	廃棄物処理対策やリサイクルの推進	0.55
5位	廃棄物処理対策やリサイクルの推進	0.89	廃棄物処理対策やリサイクルの推進	1.06	幼児教育や義務教育などの充実	0.69	防災・減災体制の充実	0.43
6位	防災・減災体制の充実	0.84	防災・減災体制の充実	1.06	コミュニティ活動の充実	0.62	防犯対策や交通安全対策の推進	0.39
7位	防犯対策や交通安全対策の推進	0.62	防犯対策や交通安全対策の推進	0.75	青少年の健全育成	0.62	コミュニティ活動の充実	0.39
8位	コミュニティ活動の充実	0.60	健康づくり活動の推進	0.63	廃棄物処理対策やリサイクルの推進	0.60	スポーツやレクリエーションの振興	0.34
9位	幼児教育や義務教育などの充実	0.55	コミュニティ活動の充実	0.61	防災・減災体制の充実	0.43	工業の振興	0.33
10位	スポーツやレクリエーションの振興	0.48	河川や水路の整備	0.59	文化・芸術活動の促進	0.39	幼児教育や義務教育などの充実	0.32

一方で、満足度が低い項目は、「中心市街地の活性化」が最も満足度が低く、次いで、「空き家や空き地の利活用」、「バスや鉄道など公共交通の利便性」となっている。

居住地区別にみると、市街地周辺では、「中心市街地の活性化」よりも「空き家や空き地の利活用」が低くっており、中山間地域では、「バスや鉄道など公共交通の利便性」、「空き家や空き地の利活用」が低くなっている。

順位	全 体		市街地		市街地周辺		中山間地域	
41位	中心市街地の活性化	-3.72	中心市街地の活性化	-3.84	空き家や空き地の利活用	-3.64	バスや鉄道など公共交通の利便性	-4.23
40位	空き家や空き地の利活用	-3.19	空き家や空き地の利活用	-2.95	中心市街地の活性化	-3.51	空き家や空き地の利活用	-3.67
39位	バスや鉄道など公共交通の利便性	-2.55	バスや鉄道など公共交通の利便性	-1.94	バスや鉄道など公共交通の利便性	-3.41	中心市街地の活性化	-3.42
38位	観光の振興	-1.73	観光の振興	-1.81	住環境の整備や土地区画整理事業の推進	-1.89	住環境の整備や土地区画整理事業の推進	-1.65
37位	人材の育成と雇用の創出	-1.22	人材の育成と雇用の創出	-1.19	観光の振興	-1.63	観光の振興	-1.60
36位	住環境の整備や土地区画整理事業の推進	-1.15	商業の振興	-1.16	人材の育成と雇用の創出	-1.26	企業誘致の推進や企業への支援	-1.43
35位	商業の振興	-1.14	企業誘致の推進や企業への支援	-1.00	商業の振興	-1.21	人材の育成と雇用の創出	-1.41
34位	企業誘致の推進や企業への支援	-1.01	行財政改革の推進	-0.86	公園や緑地の整備	-0.94	行財政改革の推進	-1.23
33位	行財政改革の推進	-0.86	住環境の整備や土地区画整理事業の推進	-0.82	農林業の振興	-0.92	公園や緑地の整備	-1.19
32位	公園や緑地の整備	-0.76	デジタル化の推進	-0.69	高齢者福祉の充実	-0.92	病院等の医療体制の充実	-1.17

②今後の重要度について

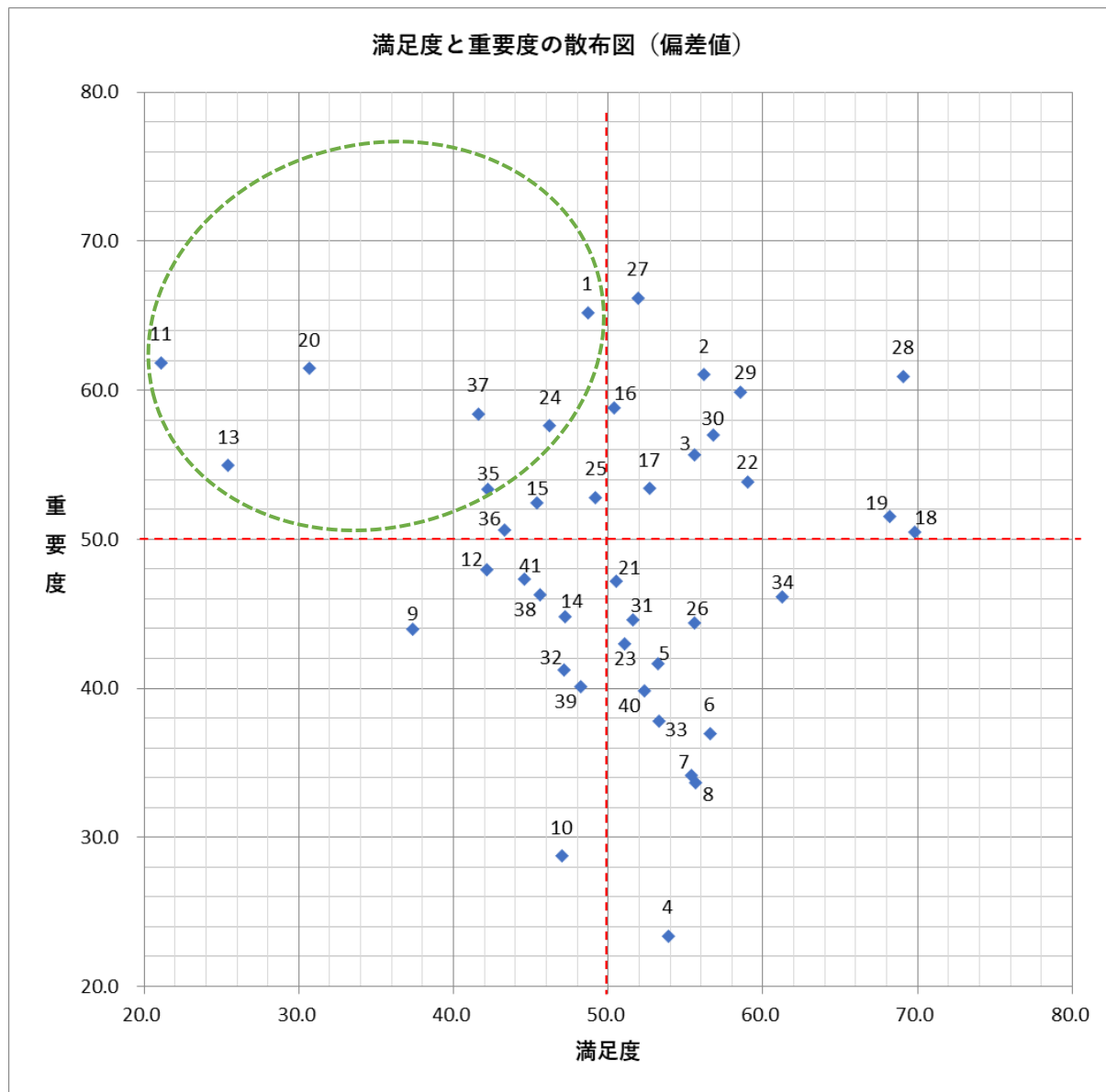
全体では、「病院等の医療体制の充実」が最も重要度が高く、次いで、「少子化対策や子育て支援の充実」、「中心市街地の活性化」となっています。

居住地区別にみると、市街地では「中心市街地の活性化」、市街地周辺、中山間地域では、「病院等の医療体制の充実」が高くなっている。

順位	全 体		市街地		市街地周辺		中山間地域	
1位	病院等の医療体制の充実	6.27	中心市街地の活性化	6.27	病院等の医療体制の充実	6.29	病院等の医療体制の充実	6.34
2位	少子化対策や子育て支援の充実	6.16	病院等の医療体制の充実	6.26	バスや鉄道など公共交通の利便性	6.09	少子化対策や子育て支援の充実	6.15
3位	中心市街地の活性化	5.78	少子化対策や子育て支援の充実	6.23	少子化対策や子育て支援の充実	5.91	バスや鉄道など公共交通の利便性	5.87
4位	バスや鉄道など公共交通の利便性	5.74	幼児教育や義務教育などの充実	5.79	防災・減災体制の充実	5.77	消防・救急体制の整備	5.70
5位	幼児教育や義務教育などの充実	5.69	消防・救急体制の整備	5.73	消防・救急体制の整備	5.58	空き家や空き地の利活用	5.50
6位	消防・救急体制の整備	5.68	バスや鉄道など公共交通の利便性	5.62	幼児教育や義務教育などの充実	5.50	生活道路や幹線道路の整備	5.46
7位	防災・減災体制の充実	5.56	防災・減災体制の充実	5.56	高齢者福祉の充実	5.41	高齢者福祉の充実	5.45
8位	生活道路や幹線道路の整備	5.44	人材の育成と雇用の創出	5.53	生活道路や幹線道路の整備	5.37	幼児教育や義務教育などの充実	5.41
9位	人材の育成と雇用の創出	5.39	生活道路や幹線道路の整備	5.45	河川や水路の整備	5.22	防災・減災体制の充実	5.40
10位	高齢者福祉の充実	5.30	防犯対策や交通安全対策の推進	5.37	防犯対策や交通安全対策の推進	5.12	人材の育成と雇用の創出	5.34

③満足度と重要度に関する分析

満足度と重要度の関係性をみると、重要度が高いが満足度が低い取組は、「中心市街地の活性化」や「空き家や空き地の利活用」、「バスや鉄道等の公共交通の利便性」、「人材育成と雇用の創出」、「商業の振興」、「企業誘致の推進や企業への支援」、「公園や緑地の整備」、「高齢者福祉の充実」、「少子化対策や子育て支援の充実」、「障がい者福祉の充実」となっており、今後もまちづくりにおいて重点的に取組む必要がある。



番号	項目	番号	項目	番号	項目
1	少子化対策や子育て支援の充実	16	生活道路や幹線道路の整備	31	行政相談・消費者相談体制の充実
2	幼児教育や義務教育などの充実	17	河川や水路の整備	32	農林業の振興
3	青少年の健全育成	18	上水道の整備	33	水産業の振興
4	周南公立大学や徳山高専等との連携	19	下水道・排水施設の整備	34	工業の振興
5	生涯学習の推進	20	バスや鉄道など公共交通の利便性	35	商業の振興
6	コミュニティ活動の充実	21	自然環境の保全・脱炭素への取組	36	企業誘致の推進や企業への支援
7	文化・芸術活動の促進	22	廃棄物処理対策やリサイクルの推進	37	人材の育成と雇用の創出
8	スポーツやレクリエーションの振興	23	母子・父子家庭等への福祉の充実	38	デジタル化の推進
9	観光の振興	24	高齢者福祉の充実	39	市政への参画や市民と行政の協働の推進
10	国際交流など国際化への対応	25	障がい者福祉の充実	40	人権の尊重と男女共同参画の推進
11	中心市街地の活性化	26	健康づくり活動の推進	41	行財政改革の推進
12	住環境の整備や土地区画整理事業の推進	27	病院等の医療体制の充実		
13	空き家や空き地の利活用	28	消防・救急体制の整備		
14	街並みや景観の形成	29	防災・減災体制の充実		
15	公園や緑地の整備	30	防犯対策や交通安全対策の推進		

（満足度・重要度の時系列分析）

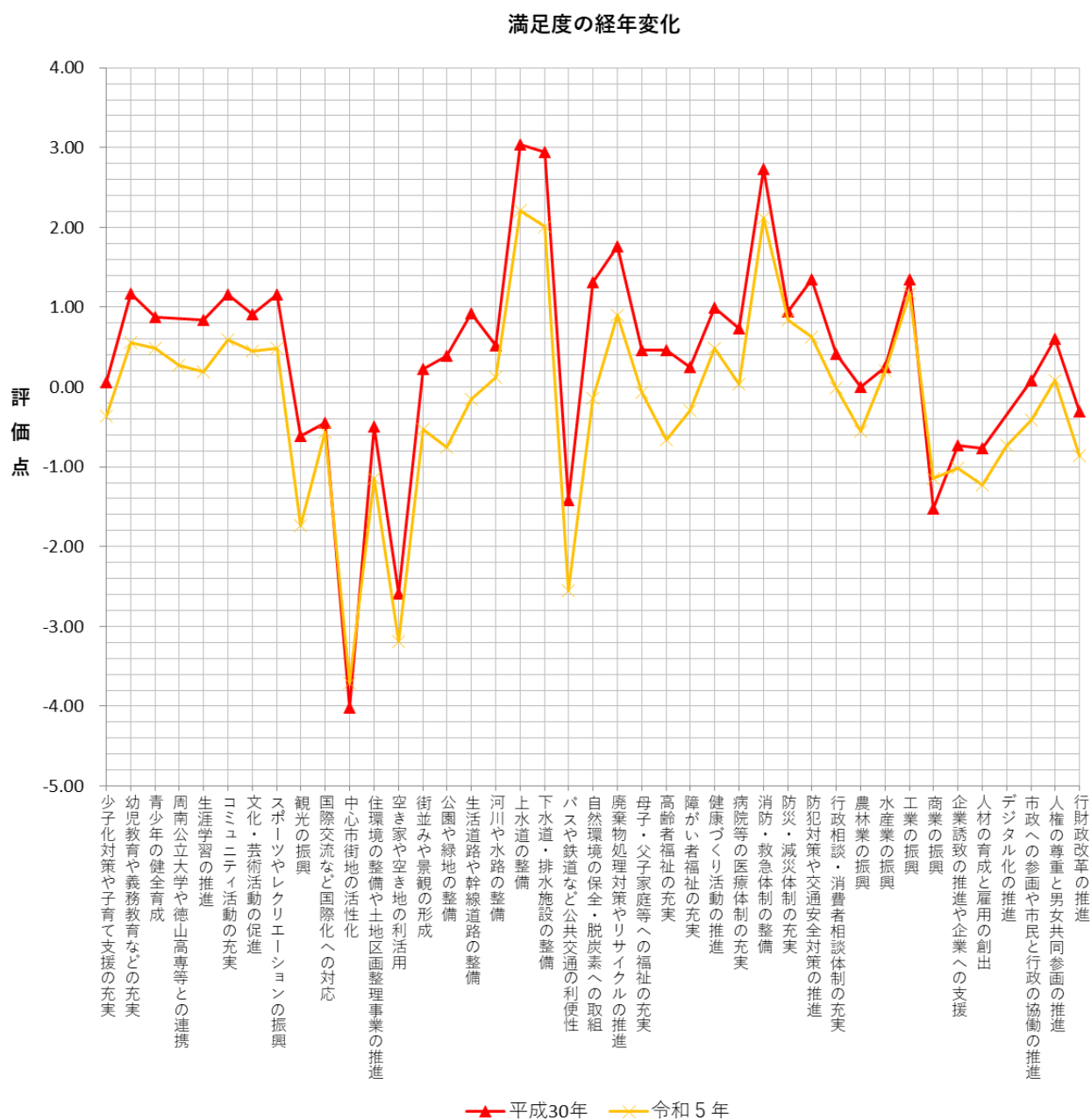
①現在の満足度について

上位3つの項目においては、変化はみられない。「工業の振興」、「防災・減災体制の充実」、「コミュニティ活動の充実」においては、満足度が高まっている傾向がみられる。

順位	令和5年	平成30年
1	上水道の整備	上水道の整備
2	消防・救急体制の整備	下水道・排水施設の整備
3	下水道・排水施設の整備	消防・救急体制の整備
4	工業の振興	廃棄物処理対策やリサイクルの推進
5	廃棄物処理対策やリサイクルの推進	防犯対策や交通安全対策の推進
6	防災・減災体制の充実	工業の振興
7	防犯対策や交通安全対策の推進	自然環境の保全
8	コミュニティ活動の充実	幼児教育や義務教育などの充実
9	幼児教育や義務教育などの充実	スポーツやレクリエーションの振興
10	スポーツやレクリエーションの振興	コミュニティ活動の充実
11	健康づくり活動の推進	健康づくり活動の推進
12	青少年の健全育成	防災・減災体制の充実
13	文化・芸術活動の促進	生活道路や幹線道路の整備
14	周南公立大学や徳山高専等との連携	文化・芸術活動の促進
15	水産業の振興	CATVや高速通信網など情報化の推進
16	生涯学習の推進	青少年の健全育成
17	河川や水路の整備	生涯学習の推進
18	人権の尊重と男女共同参画の推進	病院等の医療体制の充実
19	病院等の医療体制の充実	人権の尊重と男女共同参画の推進
20	行政相談・消費者相談体制の充実	河川や水路の整備
21	母子・父子家庭等への福祉の充実	高齢者福祉の充実
22	自然環境の保全・脱炭素への取組	母子・父子家庭等への福祉の充実
23	生活道路や幹線道路の整備	行政相談・消費者相談体制の充実
24	障がい者福祉の充実	公園や緑地の整備
25	少子化対策や子育て支援の充実	水産業の振興
26	市政への参画や市民と行政の協働の推進	障がい者福祉の充実
27	街並みや景観の形成	街並みや景観の形成
28	農林業の振興	市政への参画や市民と行政の協働の推進
29	国際交流など国際化への対応	少子化対策や子育て支援の充実
30	高齢者福祉の充実	農林業の振興
31	デジタル化の推進	行財政改革の推進
32	公園や緑地の整備	国際交流など国際化への対応
33	行財政改革の推進	住環境の整備や土地区画整理事業の推進
34	企業誘致の推進や企業への支援	観光の振興
35	商業の振興	企業誘致の推進や起業への支援
36	住環境の整備や土地区画整理事業の推進	人材の育成と雇用の創出
37	人材の育成と雇用の創出	バスや鉄道など公共交通の利便性
38	観光の振興	商業の振興
39	バスや鉄道など公共交通の利便性	空き家や空き地の利活用
40	空き家や空き地の利活用	中心市街地の活性化
41	中心市街地の活性化	

【満足度の評価点の経年変化】

令和5年調査では、平成30年調査と比較し、「中心市街地の活性化」「商業の振興」を除き、すべての項目において、満足度が低下している。



※「周南公立大学や徳山高専等との連携」「デジタル化の推進」は、令和5年調査より項目を追加

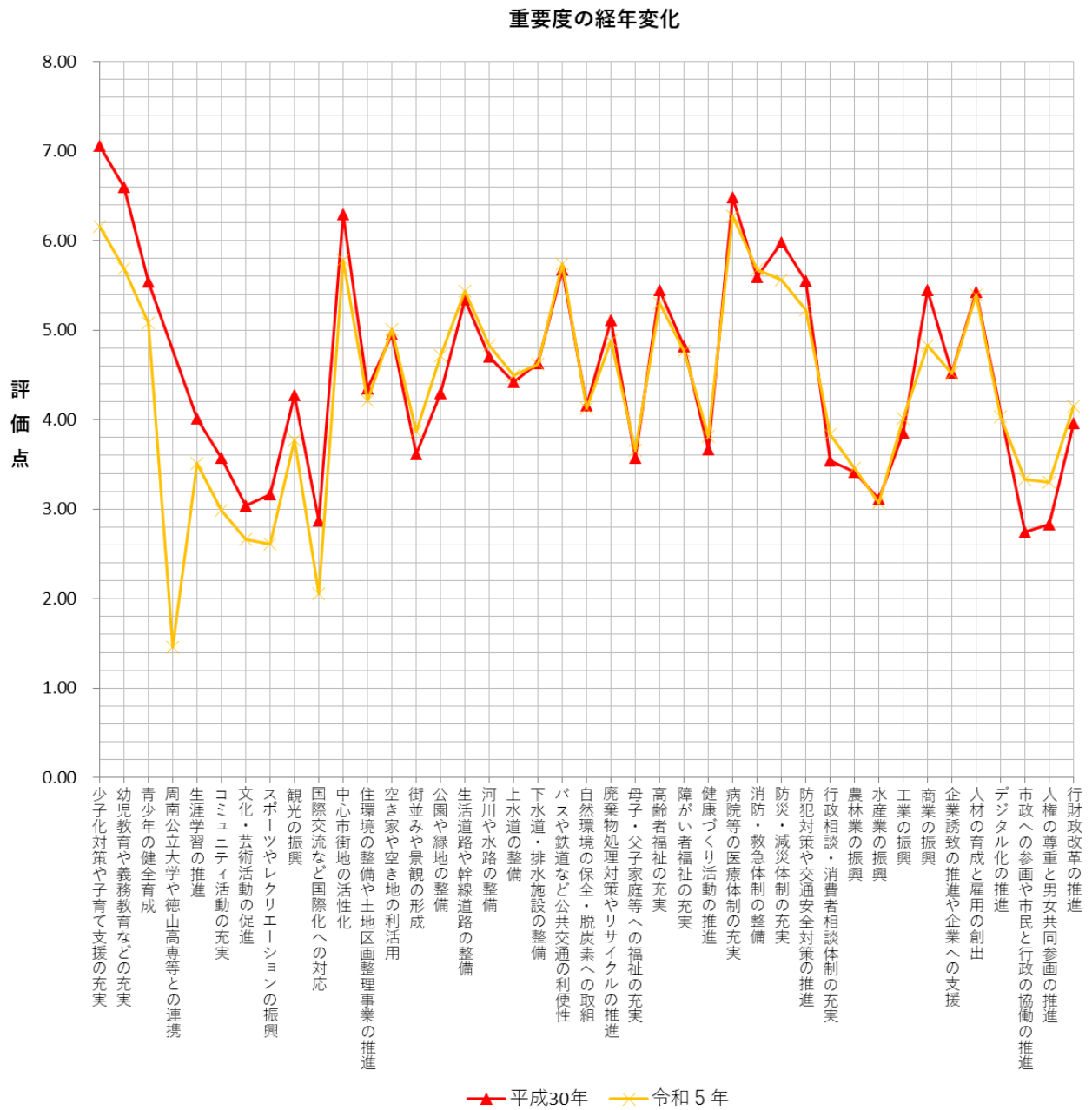
②今後の重要度について

「病院等の医療体制の充実」や「バスや鉄道など公共交通の利便性」への重要度が高まっている。

順位	令和5年	平成30年
1	病院等の医療体制の充実	少子化対策や子育て支援の充実
2	少子化対策や子育て支援の充実	幼児教育や義務教育などの充実
3	中心市街地の活性化	病院等の医療体制の充実
4	バスや鉄道など公共交通の利便性	中心市街地の活性化
5	幼児教育や義務教育などの充実	防災・減災体制の充実
6	消防・救急体制の整備	バスや鉄道など公共交通の利便性
7	防災・減災体制の充実	消防・救急体制の整備
8	生活道路や幹線道路の整備	防犯対策や交通安全対策の推進
9	人材の育成と雇用の創出	青少年の健全育成
10	高齢者福祉の充実	商業の振興
11	防犯対策や交通安全対策の推進	高齢者福祉の充実
12	青少年の健全育成	人材の育成と雇用の創出
13	空き家や空き地の利活用	生活道路や幹線道路の整備
14	廃棄物処理対策やリサイクルの推進	廃棄物処理対策やリサイクルの推進
15	河川や水路の整備	空き家や空き地の利活用
16	商業の振興	障がい者福祉の充実
17	障がい者福祉の充実	河川や水路の整備
18	公園や緑地の整備	下水道・排水施設の整備
19	下水道・排水施設の整備	企業誘致の推進や起業への支援
20	企業誘致の推進や企業への支援	上水道の整備
21	上水道の整備	住環境の整備や土地区画整理事業の推進
22	住環境の整備や土地区画整理事業の推進	公園や緑地の整備
23	行財政改革の推進	観光の振興
24	自然環境の保全・脱炭素への取組	自然環境の保全
25	デジタル化の推進	生涯学習の推進
26	工業の振興	行財政改革の推進
27	街並みや景観の形成	工業の振興
28	行政相談・消費者相談体制の充実	健康づくり活動の推進
29	健康づくり活動の推進	街並みや景観の形成
30	観光の振興	コミュニティ活動の充実
31	母子・父子家庭等への福祉の充実	母子・父子家庭等への福祉の充実
32	生涯学習の推進	行政相談・消費者相談体制の充実
33	農林業の振興	農林業の振興
34	市政への参画や市民と行政の協働の推進	CATVや高速通信網など情報化の推進
35	人権の尊重と男女共同参画の推進	スポーツやレクリエーションの振興
36	水産業の振興	水産業の振興
37	コミュニティ活動の充実	文化・芸術活動の促進
38	文化・芸術活動の促進	国際交流など国際化への対応
39	スポーツやレクリエーションの振興	人権の尊重と男女共同参画の推進
40	国際交流など国際化への対応	市政への参画や市民と行政の協働の推進
41	周南公立大学や徳山高専等との連携	

【重要度の評価点の経年変化】

令和5年調査では、平成30年調査と比較し、「市政への参画や市民と行政の協働の推進」「人権の尊重と男女共同参画の推進」において、重要度が高まっている。

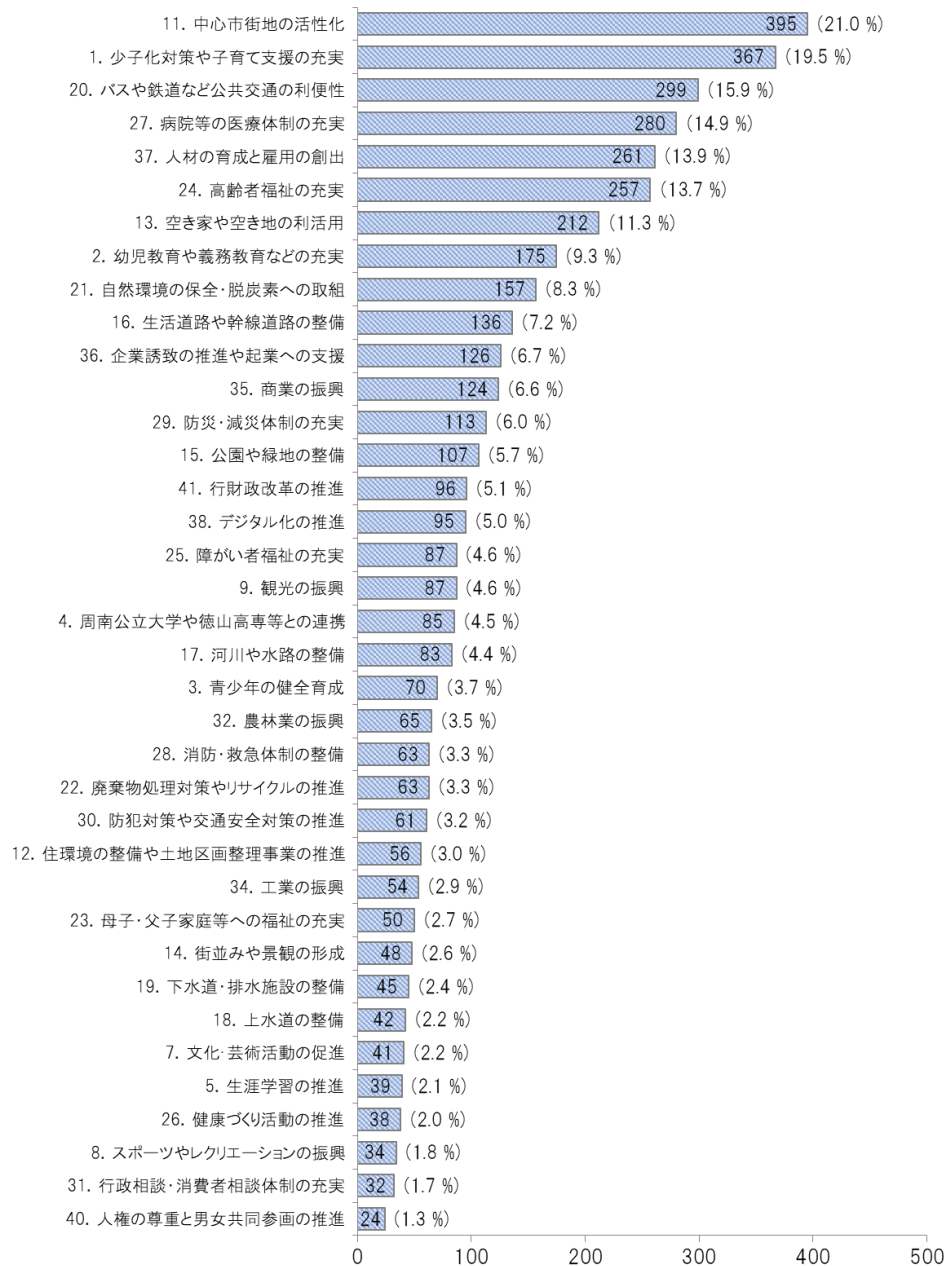


※「周南公立大学や徳山高専等との連携」「デジタル化の推進」は、令和5年調査より項目を追加

問12 問11の今後の重要度において、「1 重要」と回答した中から最も重要だと思う項目を3つ選んでください。(複数回答)

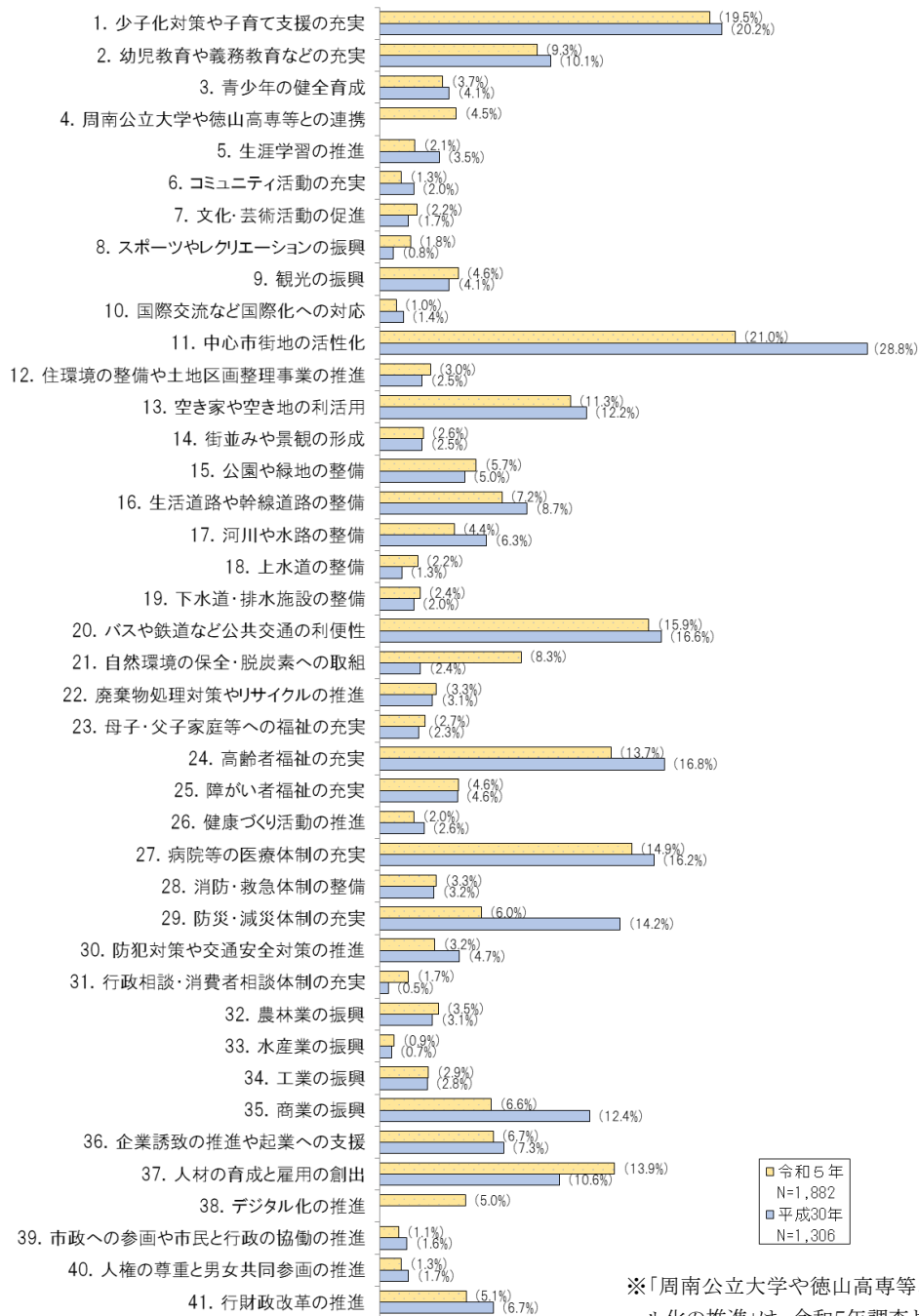
- 「中心市街地の活性化:395(21.0%)」が最も多く、次いで「少子化対策や子育て支援の充実:367(19.5%)」「バスや鉄道など公共交通の利便性:299(15.9%)」となっている。

[n=1,882]



【経年比較】

- 「自然環境の保全・脱炭素への取組」「人材の育成と雇用の創出」の回答割合が、増加傾向にある。

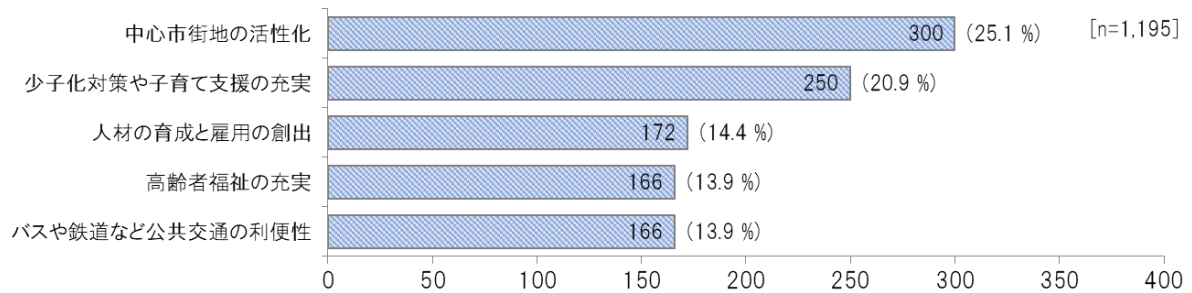


※「周南公立大学や徳山高専等との連携」「デジタル化の推進」は、令和5年調査より項目を追加

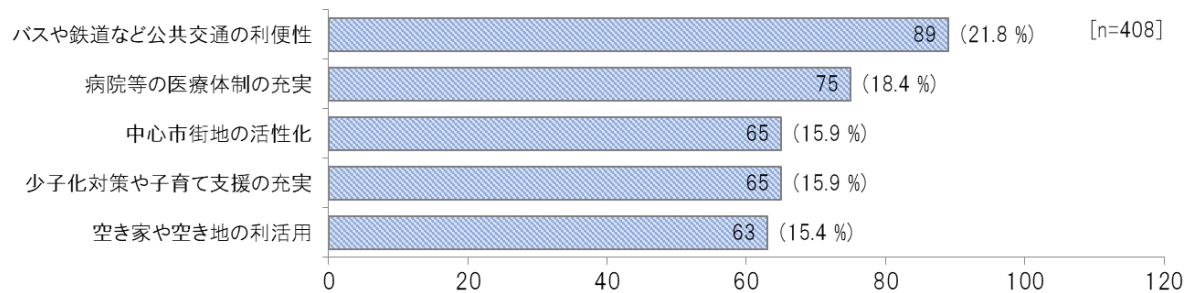
【クロス集計:居住地区】

- 市街地では「中心市街地の活性化」、市街地周辺では「バスや鉄道など公共交通の利便性」、中山間地域では「少子化対策や子育て支援の充実」が最も多い。
- すべての地域で「少子化対策や子育て支援の充実」「バスや鉄道など公共交通の利便性」が上位 5 位以内に入っている。

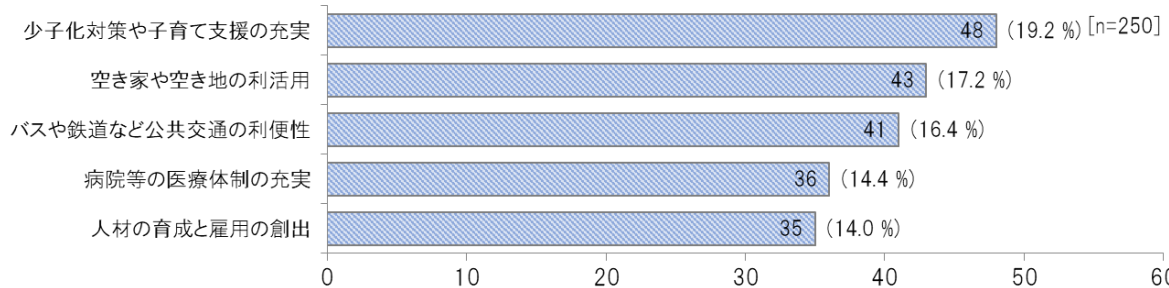
(市街地)



(市街地周辺)

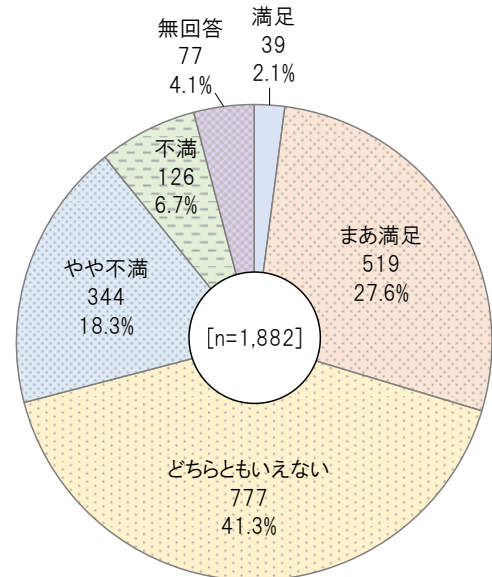


(中山間地域)



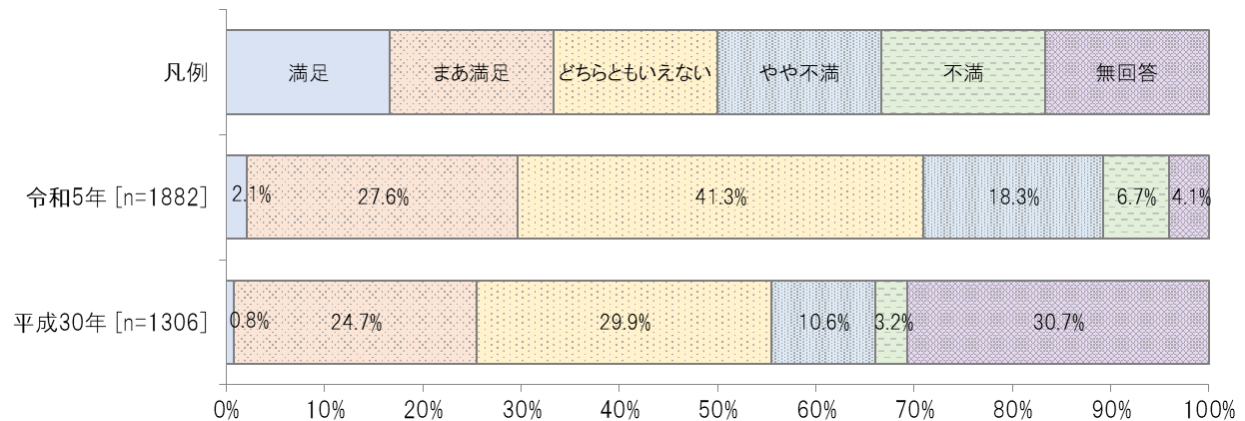
問13 周南市のまちづくりの総合的な満足度について教えてください。

- 「どちらともいえない:777(41.3%)」が最も多く、
次いで「まあ満足:519(27.6%)」「やや不満:
344(18.3%)」となっている。



【経年比較】

- 「満足」「まあ満足」の回答割合は、ほぼ横ばいである。



【クロス集計:居住地区】

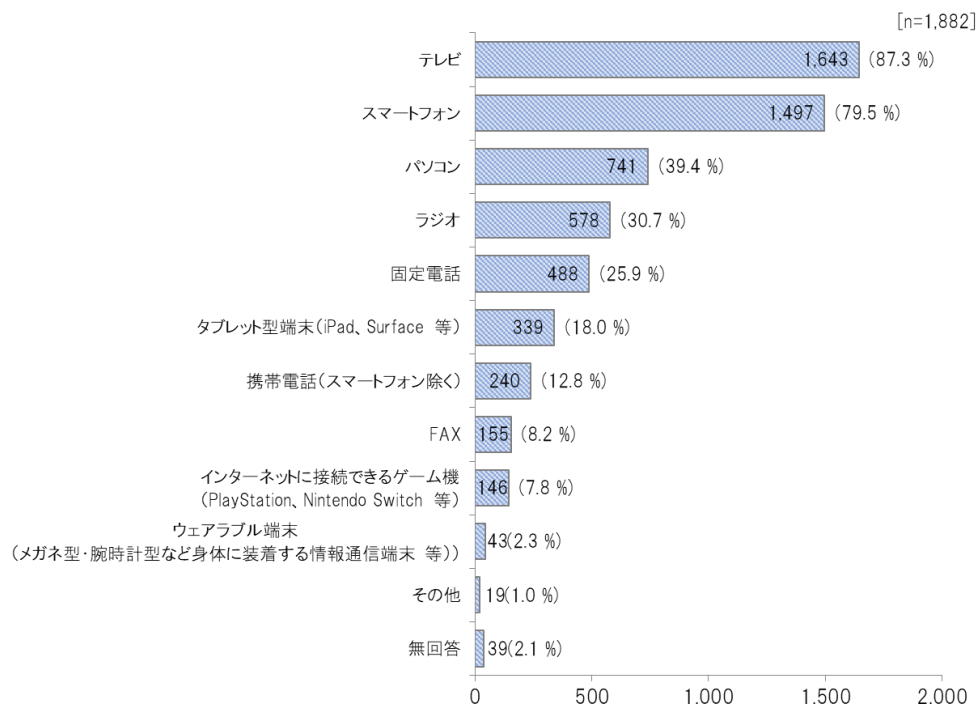
- 市街地では「満足」が多い、一方で、中山間地域では「不満」が多い。

	合計	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答
合計	1,882	39	519	777	344	126	77
	100.0 %	2.1 %	27.6 %	41.3 %	18.3 %	6.7 %	4.1 %
市街地	1,195	31	339	478	231	77	39
	100.0 %	2.6 %	28.4 %	40.0 %	19.3 %	6.4 %	3.3 %
市街地周辺	408	7	115	165	74	28	19
	100.0 %	1.7 %	28.2 %	40.4 %	18.1 %	6.9 %	4.7 %
中山間地域	250	1	59	120	36	18	16
	100.0 %	0.4 %	23.6 %	48.0 %	14.4 %	7.2 %	6.4 %
無回答	29	0	6	14	3	3	3
	100.0 %	0.0 %	20.7 %	48.3 %	10.3 %	10.3 %	10.3 %

3. 今後のまちづくりを進めるにあたり、次のことをお伺いします

問14 あなたが利用する情報通信機器・端末は何ですか。(複数回答)

- 「テレビ:1,643(87.3%)」が最も多く、次いで「スマートフォン:1,497(79.5%)」「パソコン:741(39.4%)」となっている。



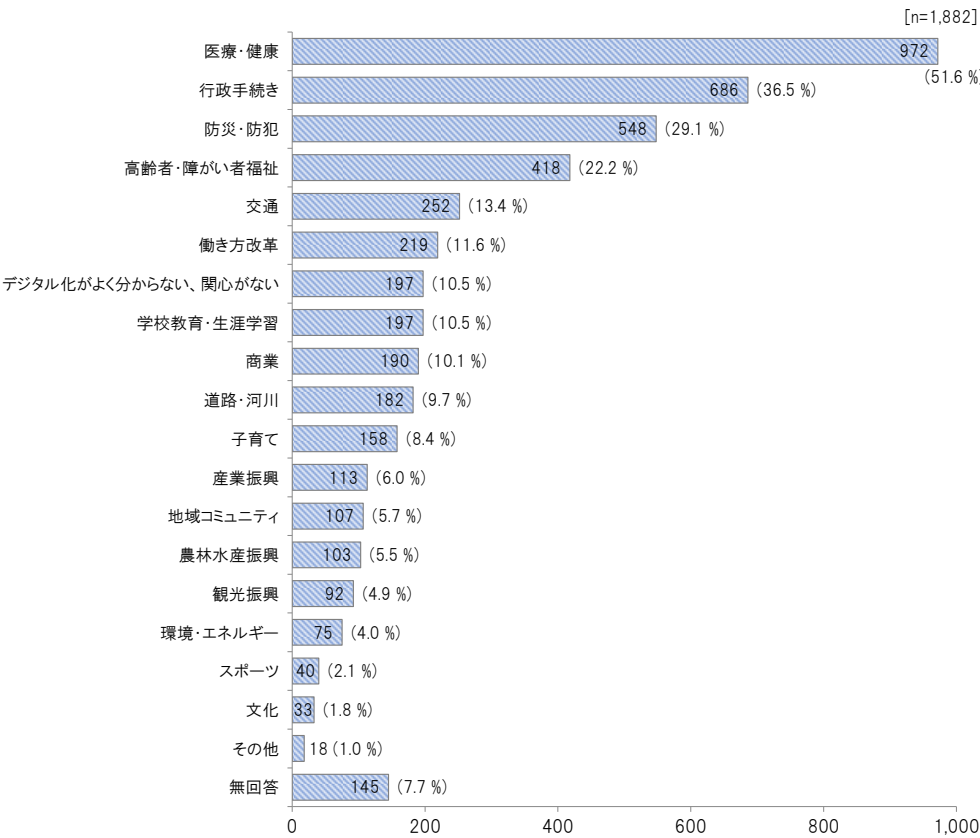
【クロス集計:年齢】

- 50歳代以下では、「スマートフォン」が最も多く、60歳以上では「テレビ」が最も多い。

	全体	18～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～74歳	75歳以上	無回答
合計	1,882	20	90	147	278	333	170	488	347	9
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
テレビ	1,643	15	62	107	228	298	152	450	324	7
	87.3%	75.0%	68.9%	72.8%	82.0%	89.5%	89.4%	92.2%	93.4%	77.8%
ラジオ	578	2	7	14	63	90	44	204	152	2
	30.7%	10.0%	7.8%	9.5%	22.7%	27.0%	25.9%	41.8%	43.8%	22.2%
固定電話	488	4	5	8	35	76	49	160	151	0
	25.9%	20.0%	5.6%	5.4%	12.6%	22.8%	28.8%	32.8%	43.5%	0.0%
FAX	155	0	1	2	10	24	15	61	42	0
	8.2%	0.0%	1.1%	1.4%	3.6%	7.2%	8.8%	12.5%	12.1%	0.0%
スマートフォン	1,497	20	84	138	265	307	143	360	176	4
	79.5%	100.0%	93.3%	93.9%	95.3%	92.2%	84.1%	73.8%	50.7%	44.4%
携帯電話(スマートフォン除く)	240	1	3	10	21	26	20	81	77	1
	12.8%	5.0%	3.3%	6.8%	7.6%	7.8%	11.8%	16.6%	22.2%	11.1%
パソコン	741	10	41	64	135	143	65	189	91	3
	39.4%	50.0%	45.6%	43.5%	48.6%	42.9%	38.2%	38.7%	26.2%	33.3%
タブレット型端末(iPad、Surface 等)	339	8	18	40	76	69	31	64	33	0
	18.0%	40.0%	20.0%	27.2%	27.3%	20.7%	18.2%	13.1%	9.5%	0.0%
ウェアラブル端末(メガネ型・腕時計型など身体に装着する情報通信端末 等))	43	0	4	6	9	7	2	9	6	0
	2.3%	0.0%	4.4%	4.1%	3.2%	2.1%	1.2%	1.8%	1.7%	0.0%
インターネットに接続できるゲーム機(PlayStation、Nintendo Switch 等)	146	5	23	36	43	20	4	8	7	0
	7.8%	25.0%	25.6%	24.5%	15.5%	6.0%	2.4%	1.6%	2.0%	0.0%
その他	19	0	0	0	1	4	1	6	7	0
	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	1.2%	0.6%	1.2%	2.0%	0.0%
無回答	39	0	3	3	2	3	5	12	10	1
	2.1%	0.0%	3.3%	2.0%	0.7%	0.9%	2.9%	2.5%	2.9%	11.1%

問15 デジタル技術の活用が期待される分野は何だと思いますか。（複数回答）

- 「医療・健康:972(51.6%)」が最も多く、次いで「行政手続き:686(36.5%)」「防災・防犯:548(29.1%)」となっている。



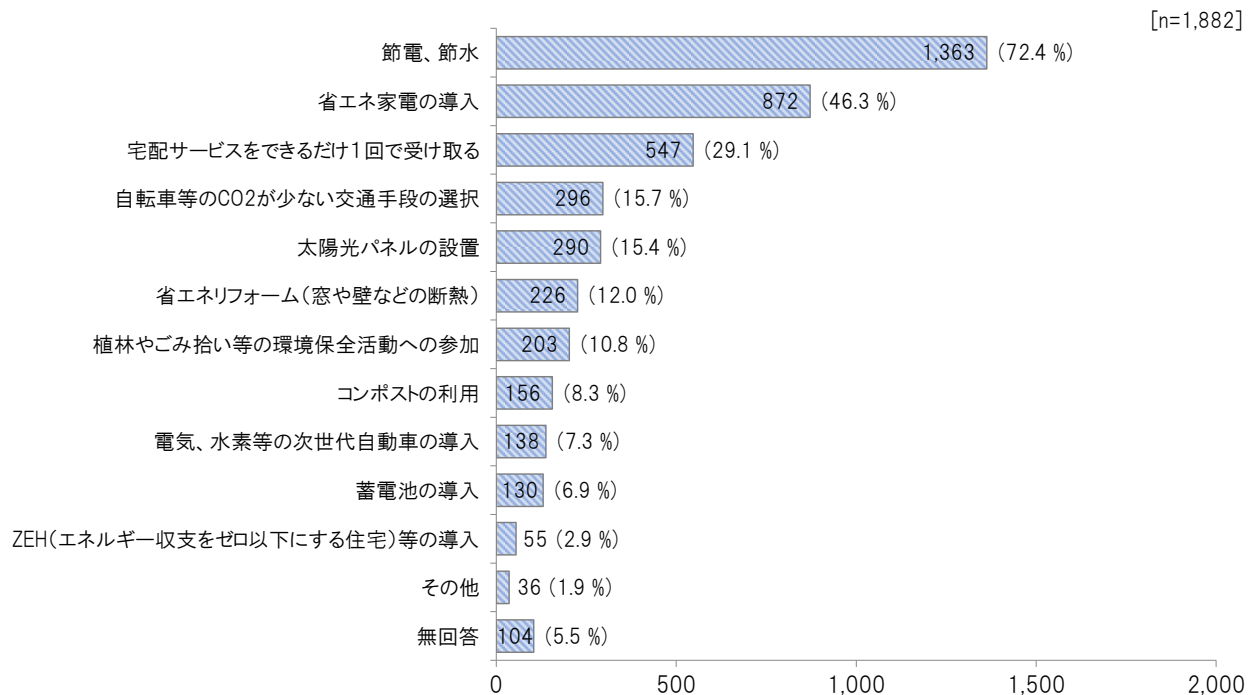
【クロス集計:年齢】

- 30歳代では「行政手続き」「子育て」、75歳以上では「高齢者・障がい者福祉」が、他の年齢と比較して多い。

	全体	18～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～74歳	75歳以上	無回答
合計	1,882	20	90	147	278	333	170	488	347	9
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
医療・健康	972	12	42	89	159	180	95	246	148	1
	51.6%	60.0%	46.7%	60.5%	57.2%	54.1%	55.9%	50.4%	42.7%	11.1%
防災・防犯	548	5	23	29	72	103	70	154	92	0
	29.1%	25.0%	25.6%	19.7%	25.9%	30.9%	41.2%	31.6%	26.5%	0.0%
行政手続き	686	5	33	77	126	142	78	160	65	0
	36.5%	25.0%	36.7%	52.4%	45.3%	42.6%	45.9%	32.8%	18.7%	0.0%
高齢者・障がい者福祉	418	3	11	9	35	76	36	134	113	1
	22.2%	15.0%	12.2%	6.1%	12.6%	22.8%	21.2%	27.5%	32.6%	11.1%
働き方改革	219	8	21	39	59	43	13	21	15	0
	11.6%	40.0%	23.3%	26.5%	21.2%	12.9%	7.6%	4.3%	4.3%	0.0%
子育て	158	3	20	44	34	18	10	21	8	0
	8.4%	15.0%	22.2%	29.9%	12.2%	5.4%	5.9%	4.3%	2.3%	0.0%
道路・河川	182	0	4	2	25	36	19	55	41	0
	9.7%	0.0%	4.4%	1.4%	9.0%	10.8%	11.2%	11.3%	11.8%	0.0%
交通	252	5	18	16	53	52	21	47	38	2
	13.4%	25.0%	20.0%	10.9%	19.1%	15.6%	12.4%	9.6%	11.0%	22.2%
商業	190	1	16	23	37	41	20	31	20	1
	10.1%	5.0%	17.8%	15.6%	13.3%	12.3%	11.8%	6.4%	5.8%	11.1%
観光振興	92	2	7	10	14	19	10	19	11	0
	4.9%	10.0%	7.8%	6.8%	5.0%	5.7%	5.9%	3.9%	3.2%	0.0%
学校教育・生涯学習	197	6	8	23	37	38	16	48	21	0
	10.5%	30.0%	8.9%	15.6%	13.3%	11.4%	9.4%	9.8%	6.1%	0.0%
スポーツ	40	1	4	5	10	6	1	6	7	0
	2.1%	5.0%	4.4%	3.4%	3.6%	1.8%	0.6%	1.2%	2.0%	0.0%
文化	33	2	5	1	4	8	3	4	6	0
	1.8%	10.0%	5.6%	0.7%	1.4%	2.4%	1.8%	0.8%	1.7%	0.0%
地域コミュニティ	107	0	5	5	20	24	6	33	14	0
	5.7%	0.0%	5.6%	3.4%	7.2%	7.2%	3.5%	6.8%	4.0%	0.0%
環境・エネルギー	75	1	3	3	8	14	4	26	16	0
	4.0%	5.0%	3.3%	2.0%	2.9%	4.2%	2.4%	5.3%	4.6%	0.0%
産業振興	113	2	3	2	18	23	7	32	26	0
	6.0%	10.0%	3.3%	1.4%	6.5%	6.9%	4.1%	6.6%	7.5%	0.0%
農林水産振興	103	0	2	12	15	14	10	35	15	0
	5.5%	0.0%	2.2%	8.2%	5.4%	4.2%	5.9%	7.2%	4.3%	0.0%
デジタル化がよく分からない、関心がない	197	0	5	3	8	10	11	70	89	1
	10.5%	0.0%	5.6%	2.0%	2.9%	3.0%	6.5%	14.3%	25.6%	11.1%
その他	18	0	2	1	2	5	0	7	1	0
	1.0%	0.0%	2.2%	0.7%	0.7%	1.5%	0.0%	1.4%	0.3%	0.0%
無回答	145	0	6	7	12	18	12	43	41	6
	0.1 %	0.0 %	0.1 %	0.0 %	0.0 %	0.1 %	0.1 %	0.1 %	0.1 %	0.7 %

問16 地球温暖化防止のため、あなたができそうな取組や、すでに実践している取組は何ですか。
(複数回答)

- 「節電、節水:1,363(72.4%)」が最も多く、次いで「省エネ家電の導入:872(46.3%)」「宅配サービスをできるだけ1回で受け取る:547(29.1%)」となっている。



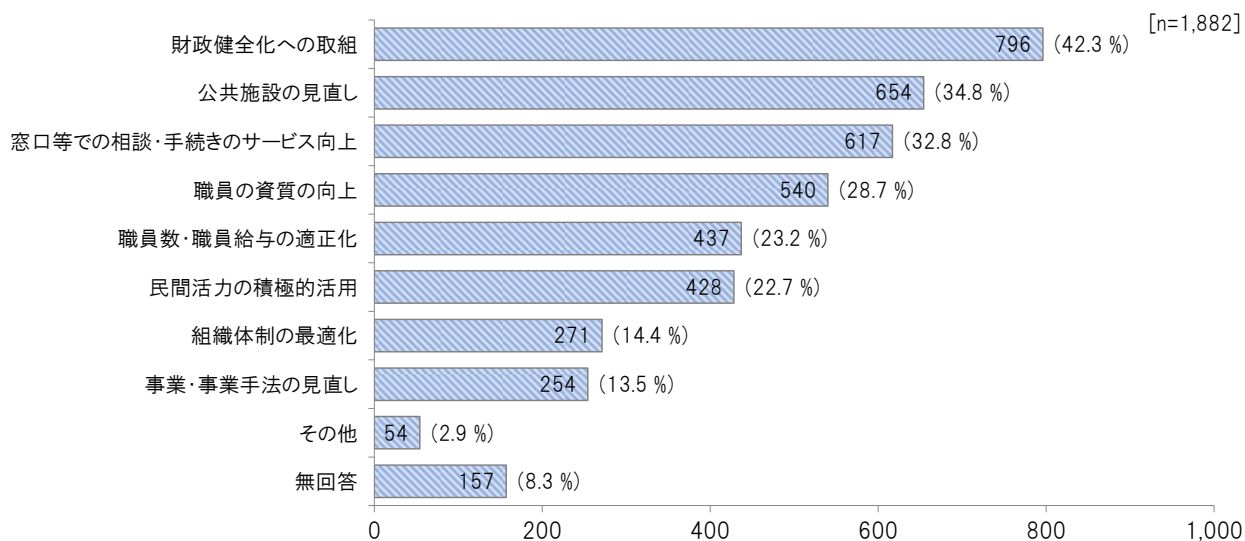
【クロス集計:性別】

- 男性、女性ともに「節電、節水」が最も多く、女性では7割を超えている。

	全体	男性	女性	その他	答えたくない	無回答
合計	1,882	870	988	2	10	12
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
ZEH(エネルギー収支をゼロ以下にする住宅)等の導入	55	35	19	0	1	0
	2.9%	4.0%	1.9%	0.0%	10.0%	0.0%
省エネ家電の導入	872	391	475	0	2	4
	46.3%	44.9%	48.1%	0.0%	20.0%	33.3%
太陽光パネルの設置	290	160	127	0	2	1
	15.4%	18.4%	12.9%	0.0%	20.0%	8.3%
蓄電池の導入	130	72	58	0	0	0
	6.9%	8.3%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%
節電、節水	1,363	596	752	1	8	6
	72.4%	68.5%	76.1%	50.0%	80.0%	50.0%
コンポストの利用	156	56	100	0	0	0
	8.3%	6.4%	10.1%	0.0%	0.0%	0.0%
省エネリフォーム(窓や壁などの断熱)	226	111	113	0	1	1
	12.0%	12.8%	11.4%	0.0%	10.0%	8.3%
宅配サービスをできるだけ1回で受け取る	547	212	329	0	3	3
	29.1%	24.4%	33.3%	0.0%	30.0%	25.0%
植林やごみ拾い等の環境保全活動への参加	203	101	100	0	0	2
	10.8%	11.6%	10.1%	0.0%	0.0%	16.7%
電気、水素等の次世代自動車の導入	138	85	53	0	0	0
	7.3%	9.8%	5.4%	0.0%	0.0%	0.0%
自転車等のCO2が少ない交通手段の選択	296	144	150	0	1	1
	15.7%	16.6%	15.2%	0.0%	10.0%	8.3%
その他	36	18	17	0	1	0
	1.9%	2.1%	1.7%	0.0%	10.0%	0.0%
無回答	104	50	48	1	0	5
	5.5%	5.7%	4.9%	50.0%	0.0%	41.7%

問17 本市では、より一層効率的な市政運営や市民サービスの向上を図るため、行財政改革に積極的に取り組んでいます。あなたは、今後、何に重点的に取り組むべきと思いますか。（複数回答）

- 「財政健全化への取組:796(42.3%)」が最も多く、次いで「公共施設の見直し:654(34.8%)」「窓口等での相談・手続きのサービス向上:617(32.8%)」となっている。



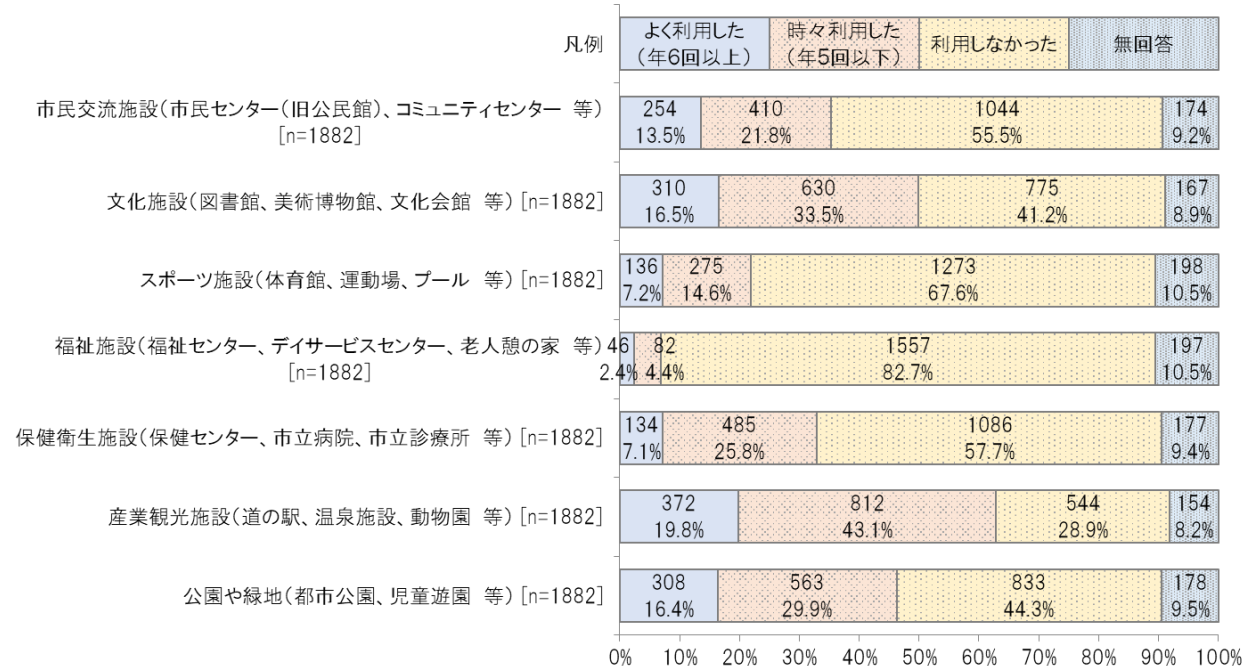
【クロス集計:年齢】

- 30歳代以下では、「公共施設の見直し」が最も多く、40歳以上では、「財政健全化への取組」が最も多い。

	合計	財政健全化への取組	公共施設の見直し	民間活力の積極的活用	事業・事業手法の見直し	窓口等での相談・手続きのサービス向上	組織体制の最適化	職員の資質の向上	職員数・職員給与の適正化	その他	無回答
全体	1,882	796	654	428	254	617	271	540	437	54	157
	100.0 %	42.3 %	34.8 %	22.7 %	13.5 %	32.8 %	14.4 %	28.7 %	23.2 %	2.9 %	8.3 %
18～19歳	20	7	11	7	3	3	4	1	6	0	0
	100.0 %	35.0 %	55.0 %	35.0 %	15.0 %	15.0 %	20.0 %	5.0 %	30.0 %	0.0 %	0.0 %
20歳代	90	30	31	19	14	27	13	26	28	2	9
	100.0 %	33.3 %	34.4 %	21.1 %	15.6 %	30.0 %	14.4 %	28.9 %	31.1 %	2.2 %	10.0 %
30歳代	147	59	66	31	23	37	30	35	42	2	5
	100.0 %	40.1 %	44.9 %	21.1 %	15.6 %	25.2 %	20.4 %	23.8 %	28.6 %	1.4 %	3.4 %
40歳代	278	137	105	72	53	72	45	86	71	13	8
	100.0 %	49.3 %	37.8 %	25.9 %	19.1 %	25.9 %	16.2 %	30.9 %	25.5 %	4.7 %	2.9 %
50歳代	333	136	106	86	41	127	49	117	73	11	14
	100.0 %	40.8 %	31.8 %	25.8 %	12.3 %	38.1 %	14.7 %	35.1 %	21.9 %	3.3 %	4.2 %
60～64歳	170	75	61	42	24	56	18	49	42	6	9
	100.0 %	44.1 %	35.9 %	24.7 %	14.1 %	32.9 %	10.6 %	28.8 %	24.7 %	3.5 %	5.3 %
65～74歳	488	215	163	93	70	171	77	140	111	11	53
	100.0 %	44.1 %	33.4 %	19.1 %	14.3 %	35.0 %	15.8 %	28.7 %	22.7 %	2.3 %	10.9 %
75歳以上	347	137	110	78	26	122	35	85	63	9	52
	100.0 %	39.5 %	31.7 %	22.5 %	7.5 %	35.2 %	10.1 %	24.5 %	18.2 %	2.6 %	15.0 %
無回答	9	0	1	0	0	2	0	1	1	0	7
	100.0 %	0.0 %	11.1 %	0.0 %	0.0 %	22.2 %	0.0 %	11.1 %	11.1 %	0.0 %	77.8 %

問18 この1年間に、以下の公共施設をどの程度利用しましたか？

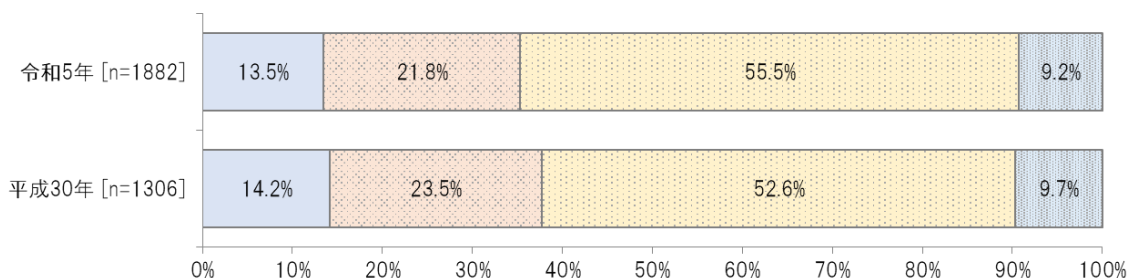
- 「よく利用した」の回答は、「産業観光施設:372(19.8%)」が最も多く、次いで「文化施設:310(16.5%)」「公園や緑地:308(16.4%)」となっている。
- 「利用しなかった」の回答は、「福祉施設:1,557(82.7%)」が最も多く、次いで「スポーツ施設:1,273(67.6%)」「保健衛生施設:1,086(57.7%)」となっている。



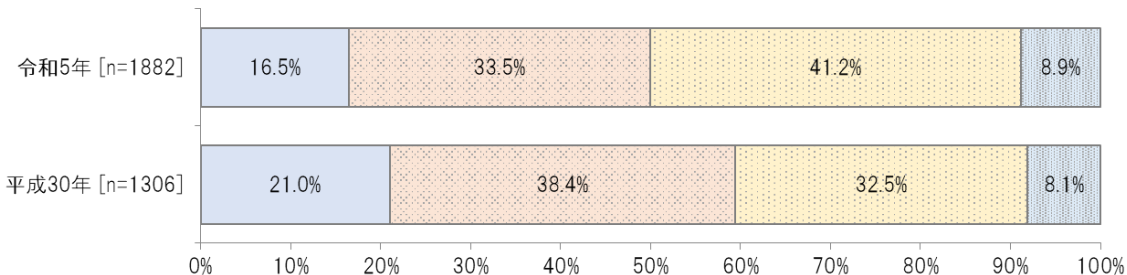
【経年比較】

- 「公園や緑地」を除いた、すべての施設で「利用しなかった」の回答が増加している。

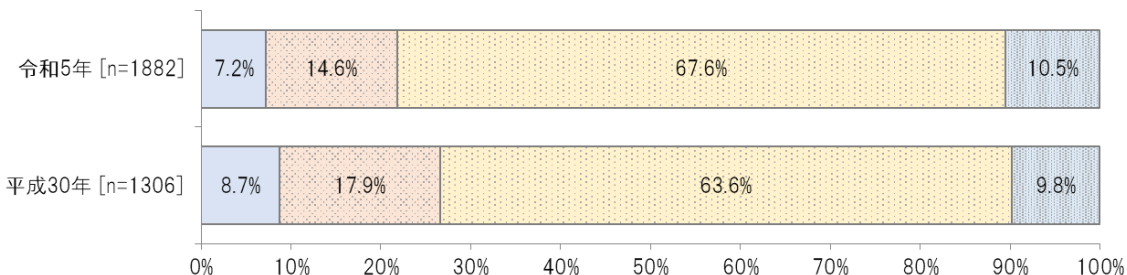
①市民交流施設



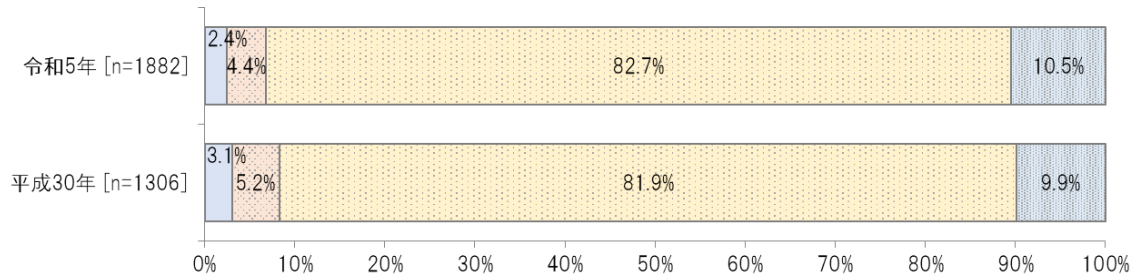
②文化施設



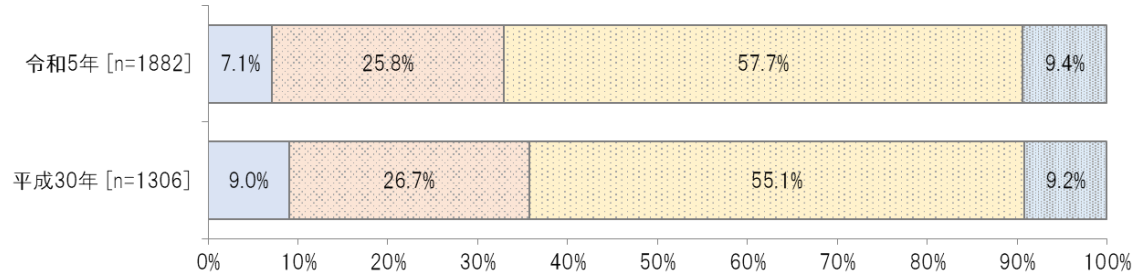
③スポーツ施設



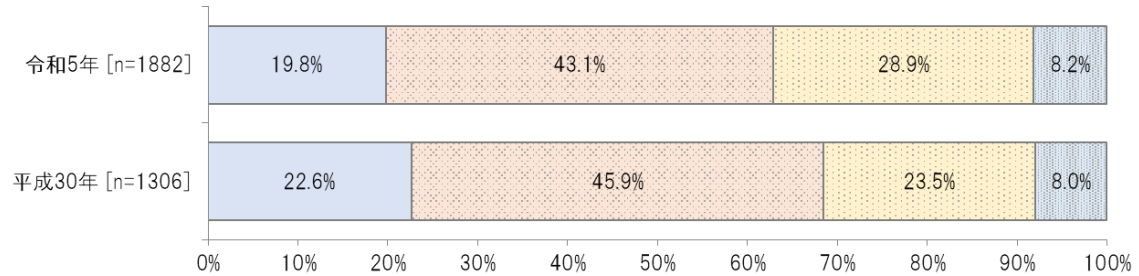
④福祉施設



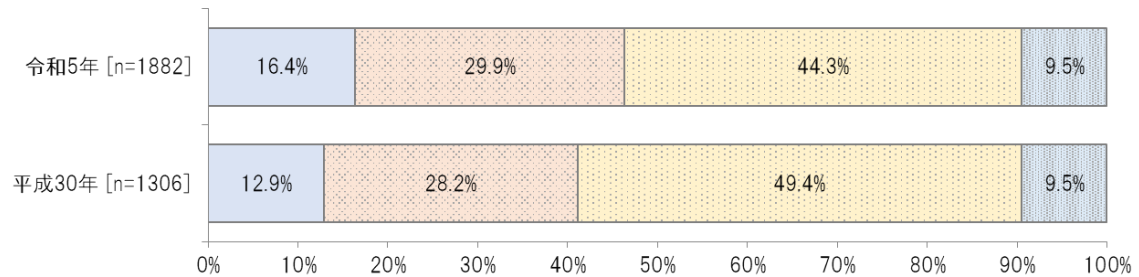
⑤保健衛生施設



⑥産業観光施設



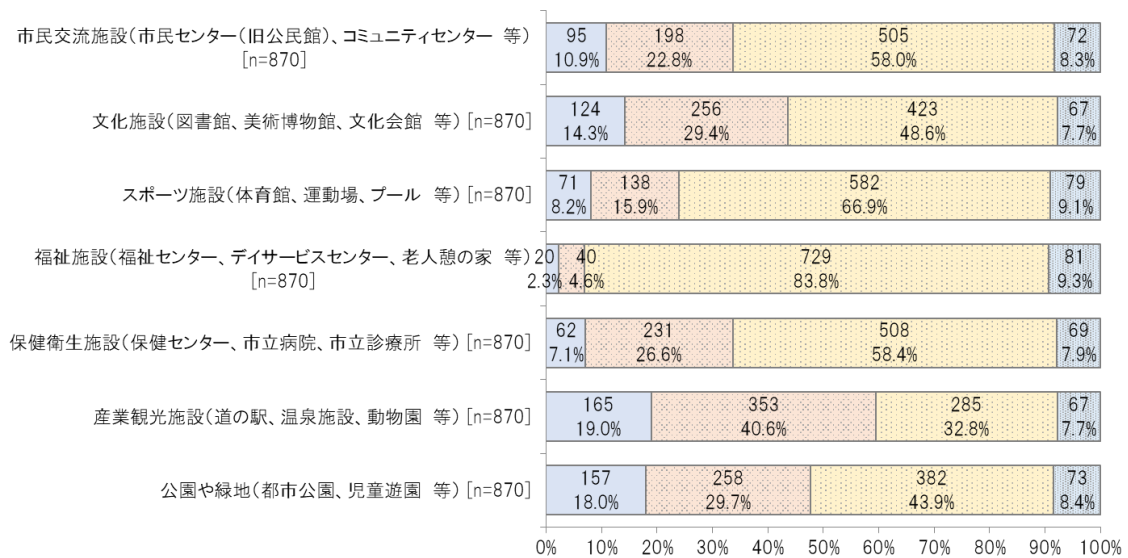
⑦公園や緑地



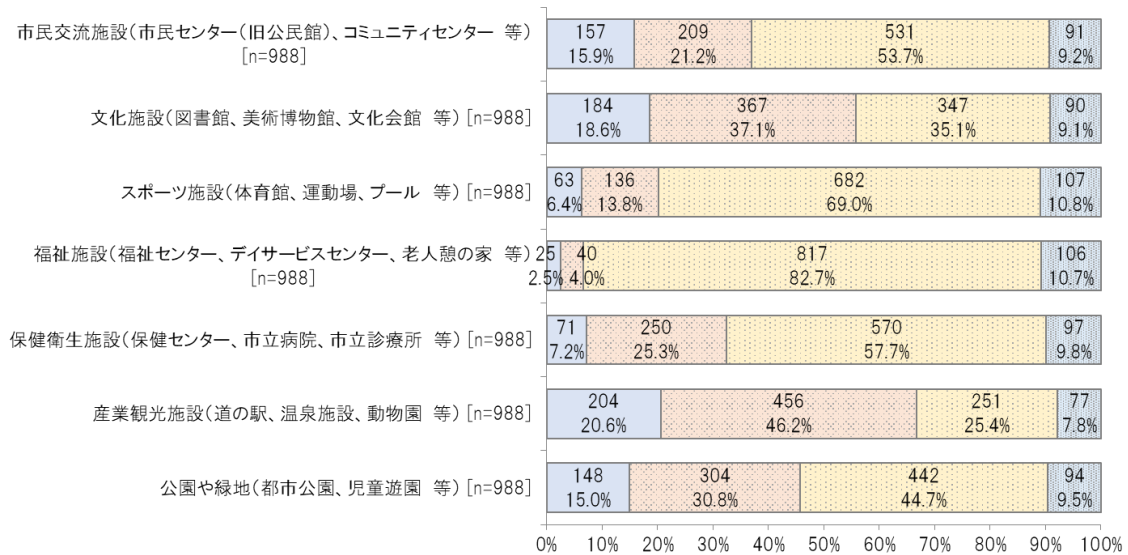
【クロス集計:性別】

- 男性では、「産業観光施設」、次いで「公園や緑地」「文化施設」が多くなっている。
- 女性では、「産業観光施設」、次いで「文化施設」「市民交流施設」が多い。

(男性)

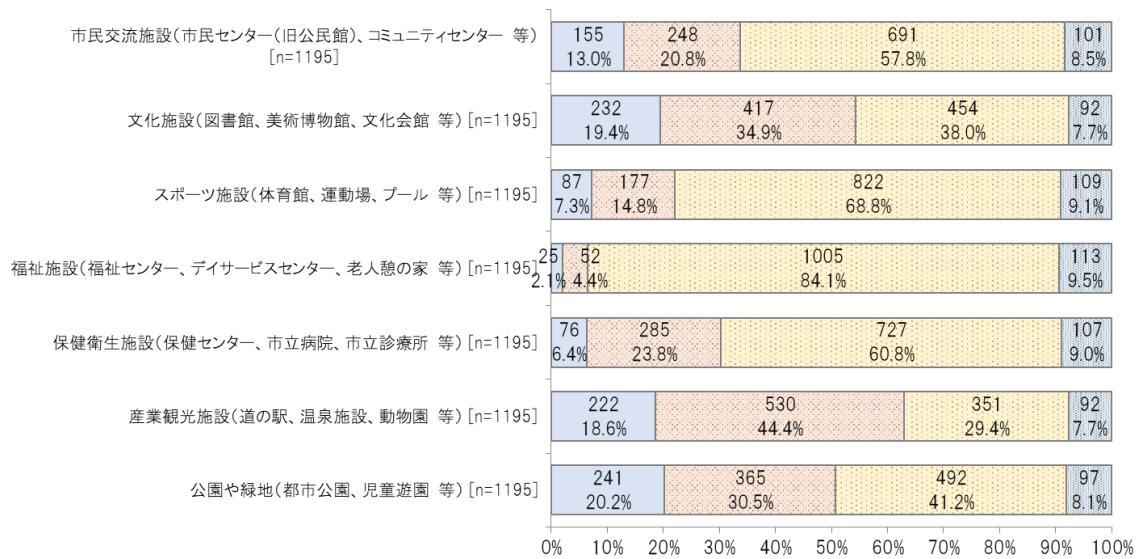


(女性)

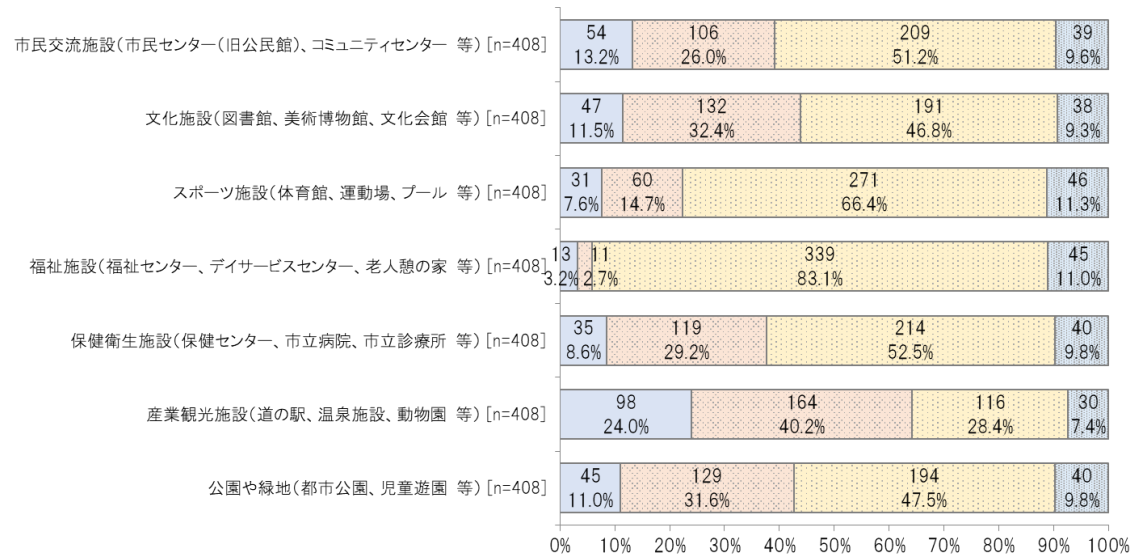


【クロス集計:居住地区】

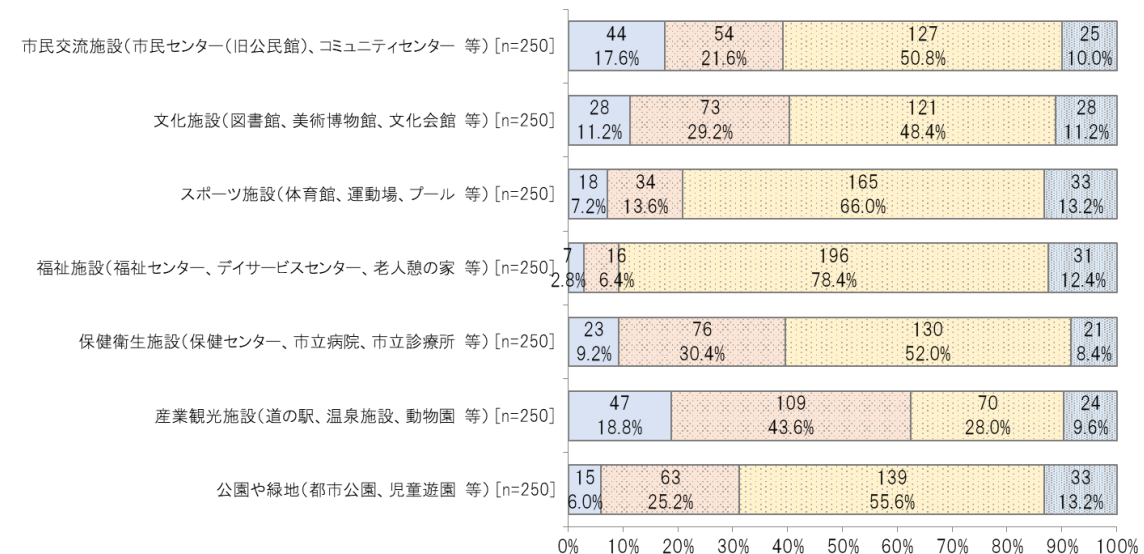
- 市街地では、「公園や緑地」、次いで「文化施設」「産業観光施設」で「よく利用した」が多く、市街地周辺、中山間地域では、「産業観光施設」、次いで「市民交流施設」「文化施設」で「よく利用した」が多い。
(市街地)



(市街地周辺)



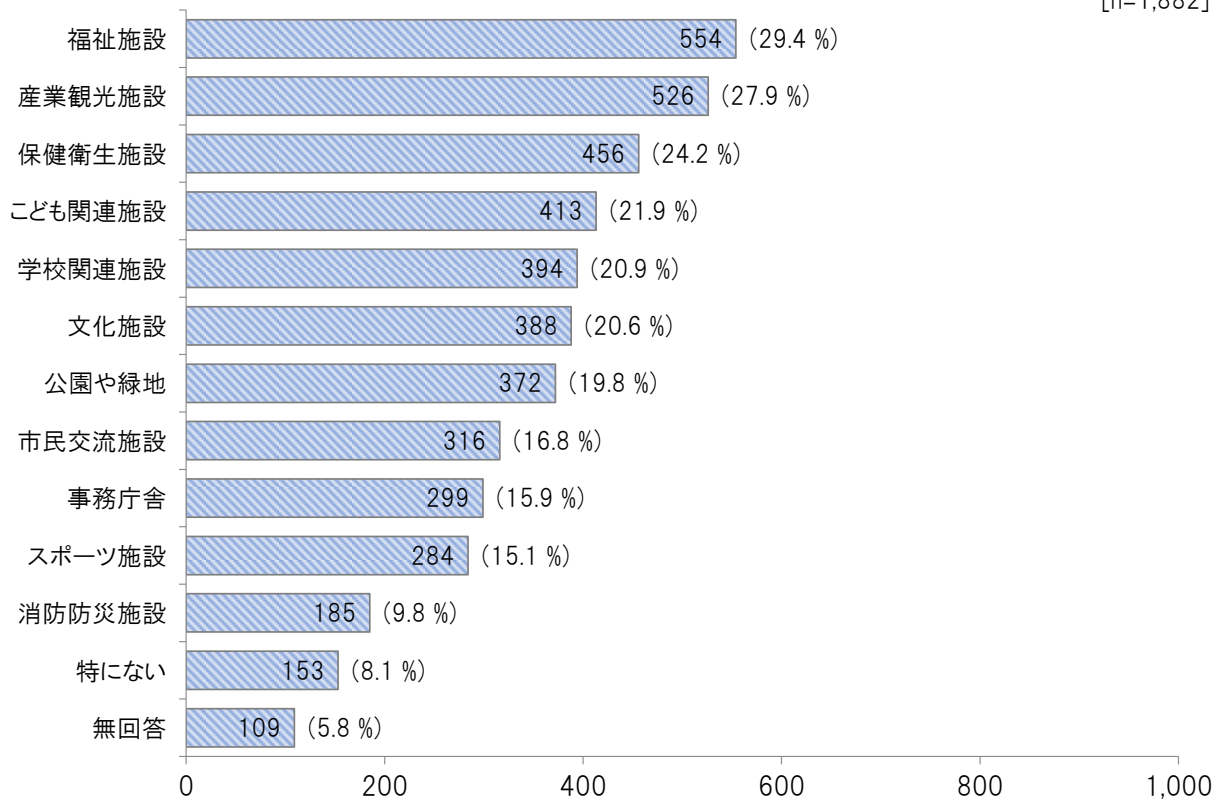
(中山間地域)



問19 今後のまちづくりを進める上で、特にどの公共施設が重要だとお考えですか。（複数回答）

- 「福祉施設：554（29.4%）」が最も多く、次いで「産業観光施設：526（27.9%）」「保健衛生施設：456（24.2%）」となっている。

[n=1,882]



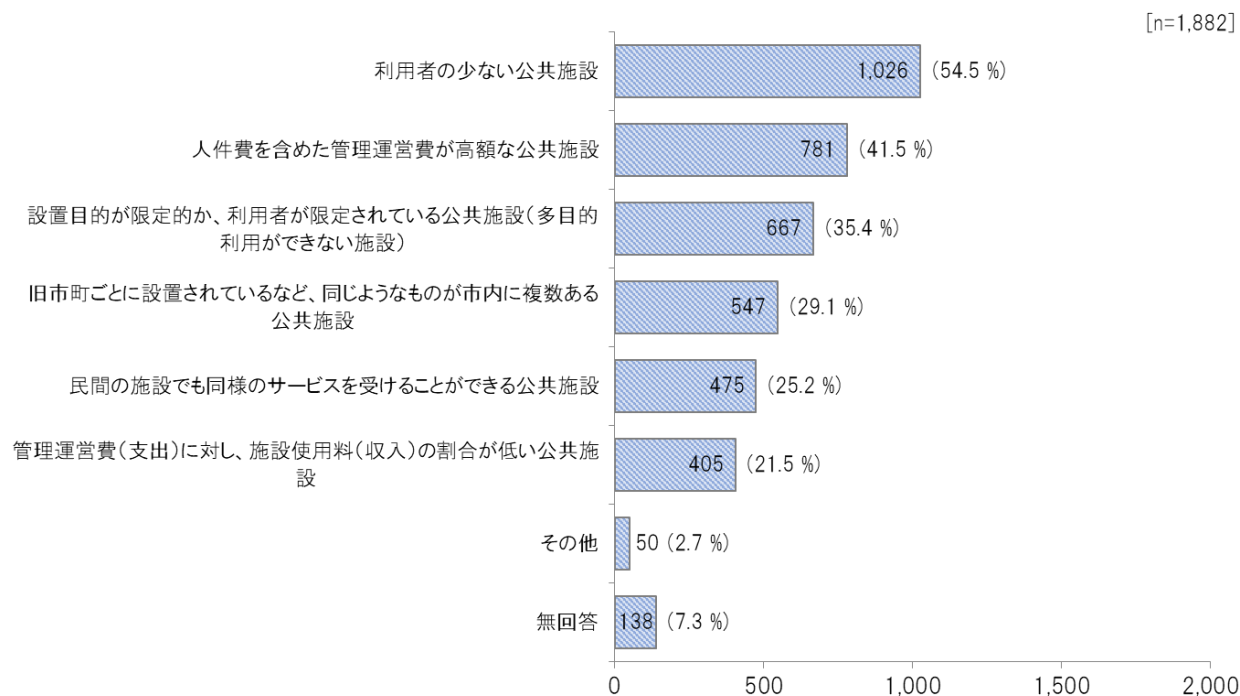
【クロス集計：年齢】

- 18～19 歳、50 歳代では「産業観光施設」、20 歳代、30 歳代では「子ども関連施設」、40 歳代では「学校関連施設」、60 歳以上では「福祉施設」が最も多い。

	合計	事務庁舎	市民交流施設	学校関連施設	文化施設	スポーツ施設	子ども関連施設	福祉施設	保健衛生施設	産業観光施設	公園や緑地	消防防災施設	特にない	無回答
全体	1,882	299	316	394	388	284	413	554	456	526	372	185	153	109
	100.0 %	15.9 %	16.8 %	20.9 %	20.6 %	15.1 %	21.9 %	29.4 %	24.2 %	27.9 %	19.8 %	9.8 %	8.1 %	5.8 %
18～19歳	20	3	2	7	6	7	3	5	4	8	5	0	1	0
	100.0 %	15.0 %	10.0 %	35.0 %	30.0 %	35.0 %	15.0 %	25.0 %	20.0 %	40.0 %	25.0 %	0.0 %	5.0 %	0.0 %
20歳代	90	11	4	26	15	17	36	10	14	35	29	5	6	5
	100.0 %	12.2 %	4.4 %	28.9 %	16.7 %	18.9 %	40.0 %	11.1 %	15.6 %	38.9 %	32.2 %	5.6 %	6.7 %	5.6 %
30歳代	147	13	8	62	27	33	77	18	22	39	59	7	6	6
	100.0 %	8.8 %	5.4 %	42.2 %	18.4 %	22.4 %	52.4 %	12.2 %	15.0 %	26.5 %	40.1 %	4.8 %	4.1 %	4.1 %
40歳代	278	33	30	99	61	70	72	57	50	84	68	22	20	7
	100.0 %	11.9 %	10.8 %	35.6 %	21.9 %	25.2 %	25.9 %	20.5 %	18.0 %	30.2 %	24.5 %	7.9 %	7.2 %	2.5 %
50歳代	333	44	45	64	92	58	59	99	86	123	55	44	26	10
	100.0 %	13.2 %	13.5 %	19.2 %	27.6 %	17.4 %	17.7 %	29.7 %	25.8 %	36.9 %	16.5 %	13.2 %	7.8 %	3.0 %
60～64歳	170	23	30	36	30	17	44	60	42	43	35	19	15	10
	100.0 %	13.5 %	17.6 %	21.2 %	17.6 %	10.0 %	25.9 %	35.3 %	24.7 %	25.3 %	20.6 %	11.2 %	8.8 %	5.9 %
65～74歳	488	98	112	69	96	51	84	167	150	105	79	51	32	40
	100.0 %	20.1 %	23.0 %	14.1 %	19.7 %	10.5 %	17.2 %	34.2 %	30.7 %	21.5 %	16.2 %	10.5 %	6.6 %	8.2 %
75歳以上	347	73	85	31	61	31	38	136	88	88	41	36	46	25
	100.0 %	21.0 %	24.5 %	8.9 %	17.6 %	8.9 %	11.0 %	39.2 %	25.4 %	25.4 %	11.8 %	10.4 %	13.3 %	7.2 %
無回答	9	1	0	0	0	0	0	2	0	1	1	1	1	6
	100.0 %	11.1 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	22.2 %	0.0 %	11.1 %	11.1 %	11.1 %	11.1 %	66.7 %

・問20 本市では、厳しい財政状況のなか、市民の皆様に必要なサービスを提供しつつ、本市の身の丈に合った施設保有量を実現するため、「周南市公共施設再配置計画」を策定し、公共施設の老朽化問題に対する取組を進めています。今後、施設の大規模改修や更新のほか、施設の統合や廃止、複合化といった見直しも必要となります。その場合、どのような施設から見直しを進めていくべきとお考えですか？(複数回答)

- 「利用者の少ない公共施設:1,026(54.5%)」が最も多く、次いで「人件費を含めた管理運営費が高額な公共施設:781(41.5%)」「設置目的が限定的か、利用者が限定されている公共施設(多目的利用ができない施設):667(35.4%)」となっている。



【クロス集計:居住年数】

- すべての居住年数で「利用者の少ない公共施設」が最も多い。
- 1年未満では、「民間の施設でも同様のサービスを受けることができる公共施設」、1～5年未満では、「旧市町ごとに設置されているなど、同じようなものが市内にある公共施設」が、他の居住年数と比較して多い。

	合計	利用者の少ない公共施設	旧市町ごとに設置されているなど、同じようなものが市内に複数ある公共施設	人件費を含めた管理運営費が高額な公共施設	管理運営費(支出)に対し、施設使用料(収入)の割合が低い公共施設	設置目的が限定的か、利用者が限定されている公共施設(多目的利用ができない施設)	民間の施設でも同様のサービスを受けることができる公共施設	その他	無回答
全体	1,882	1,026	547	781	405	667	475	50	138
	100.0 %	54.5 %	29.1 %	41.5 %	21.5 %	35.4 %	25.2 %	2.7 %	7.3 %
1年未満	28	18	8	10	8	4	9	1	1
	100.0 %	64.3 %	28.6 %	35.7 %	28.6 %	14.3 %	32.1 %	3.6 %	3.6 %
1～5年未満	77	45	30	29	21	23	18	3	4
	100.0 %	58.4 %	39.0 %	37.7 %	27.3 %	29.9 %	23.4 %	3.9 %	5.2 %
5～10年未満	79	47	22	30	16	23	21	1	4
	100.0 %	59.5 %	27.8 %	38.0 %	20.3 %	29.1 %	26.6 %	1.3 %	5.1 %
10～20年未満	196	105	68	73	39	72	60	2	6
	100.0 %	53.6 %	34.7 %	37.2 %	19.9 %	36.7 %	30.6 %	1.0 %	3.1 %
20～30年未満	262	145	76	112	68	83	51	6	14
	100.0 %	55.3 %	29.0 %	42.7 %	26.0 %	31.7 %	19.5 %	2.3 %	5.3 %
30年以上	1,231	661	342	525	250	459	314	37	106
	100.0 %	53.7 %	27.8 %	42.6 %	20.3 %	37.3 %	25.5 %	3.0 %	8.6 %
無回答	9	5	1	2	3	3	2	0	3
	100.0 %	55.6 %	11.1 %	22.2 %	33.3 %	33.3 %	22.2 %	0.0 %	33.3 %

4. まちづくりへのご意見やご要望などがございましたらお聞かせください。(自由記述)

まちづくりへのご意見やご要望などについて、カテゴリーごとにお示します。いただいたご意見等の詳細については、「自由意見一覧表」に記載します。

カテゴリー	件数
教育	17
子どもの健全育成	7
子育て環境	38
生涯学習	5
文化・芸術	10
スポーツ	7
人権尊重	2
地域コミュニティ	6
防災	11
消防・救急	3
生活の安全性	31
地域福祉	6
高齢者福祉	23
障がい者福祉	6
健康づくり	2
地域医療	19
農林水産業	10
地域ブランド	5
商工業	10
雇用	9
観光	13
道路・交通	89
都市環境	82
都市拠点・ 市街地活性化	70
上下水道	9
脱炭素・循環型社会	9
環境保全	11
まちの魅力・ まちづくり	15
行政運営	49
財政運営	83
合計	657

周南市 市民アンケート調査

平素より、本市の市政運営にご協力いただき誠にありがとうございます。

本市では、平成27（2015）年度から、第2次まちづくり総合計画「しゅうなん共創共生プラン」に基づき市政運営を行っております。

まちづくり総合計画は、都市の将来像やその実現に向けたまちづくりの方向性などを定めた長期的な計画であり、市の最上位計画として位置付けられるものです。後期基本計画4年目となる今年度は、令和7（2025）年度から始まる第3次総合計画の策定に向けて準備を進めており、その一環として市民アンケート調査を実施します。

この調査は、市民の皆様のニーズや満足度、市政に対するお考えなどを伺い、計画策定の基礎資料とすることを目的としており、市内にお住まいの18歳以上の方から無作為に4,000人を選ばせていただき、送付しています。ご回答いただいた内容は全てを統計的に処理し、個人情報の保護に配慮することはもちろん、他の目的に使用することは一切ございません。

お忙しいところ恐れ入りますが、本調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和5年8月 周南市長 藤井 律子

ご記入にあたってのお願い

- 封筒のあて名のご本人がお答えください。なお、事情によりご本人が記入できない場合は、ご家族の方などがご本人から聞きとって代わりに記入してください。
- 調査には無記名でお答えください。
- 調査の回答は、
 - ①郵送回答（調査票を返信用封筒に入れ、ポストへ投函）※切手は不要です。
 - ②Web 回答（入力フォームにアクセスし回答）のいずれかにより、**9月22日（金）までに回答（投函）**をお願いします。
- Web（オンライン）で回答をご希望される方は、下記の URL にアクセス、もしくは QR コードを読み取りご回答ください。なお、**Web（オンライン）でご回答された方は、調査票の返信は不要**です。

【URL】

<https://jp.research.net/r/8VJLJFZ>

【QR コード】



【本調査の問い合わせ先】

周南市 企画部 企画課 企画担当

〒745-8655 周南市岐山通1丁目1番地

電話：0834-22-8478 E-mail：kikaku@city.shunan.lg.jp

アンケート調査票

番号

※この番号は個人を特定するものではなく、Web 回答との重複集計を防ぐための番号です。

1 あなたご自身のことについてお伺いします。

問1 性別を教えてください。(1つに○)

- | | | | |
|------|------|-------|----------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 その他 | 4 答えたくない |
|------|------|-------|----------|

問2 あなたの年齢をお答えください。(1つに○)

- | | | | |
|----------|----------|----------|---------|
| 1 18～19歳 | 2 20歳代 | 3 30歳代 | 4 40歳代 |
| 5 50歳代 | 6 60～64歳 | 7 65～74歳 | 8 75歳以上 |

問3 同居家族の構成を教えてください。(1つに○)

- | | | |
|---------------|---------|-----------------|
| 1 一人暮らし | 2 夫婦のみ | 3 二世帯同居（子どもと同居） |
| 4 二世帯同居（親と同居） | 5 三世帯同居 | 6 その他（ ） |

問4 お住まいの地区を教えてください。(1つに○)

- | | | | |
|-----------|--------|--------|------------|
| 1 関門・中央 | 2 遠石 | 3 今宿 | 4 周陽・秋月・桜木 |
| 5 岐山 | 6 久米 | 7 櫛浜 | 8 鼓南 |
| 9 菊川 | 10 夜市 | 11 戸田 | 12 湯野 |
| 13 大道理・大向 | 14 長穂 | 15 須々万 | 16 中須 |
| 17 須金 | 18 大津島 | 19 富田 | 20 福川 |
| 21 和田 | 22 三丘 | 23 高水 | 24 勝間 |
| 25 大河内 | 26 八代 | 27 鹿野 | |

問5 周南市に居住している年数(合計)を教えてください。(1つに○)

- | | | |
|------------|------------|-----------|
| 1 1年未満 | 2 1～5年未満 | 3 5～10年未満 |
| 4 10～20年未満 | 5 20～30年未満 | 6 30年以上 |

問6 職業(雇用形態)を教えてください。(1つに○)

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| 1 農林漁業 | 2 自営業・自由業 |
| 3 正規の従業員(会社員・店員等)・団体職員・公務員 | 4 派遣社員・契約社員・パート・アルバイト |
| 5 学生 | 6 家事専業・無職 |
| 7 その他（ ） | |

2 周南市での暮らしについてのお考えをお伺いします。

問7 あなたが日常生活で困っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 食料品や日用品の買い物	2 レストランやカフェなど飲食店の利用
3 銀行や信用金庫など金融機関の利用	4 郵便局の利用
5 総合病院や個人病院、診療所の利用	6 幼稚園、認定こども園、保育所等の利用
7 子育て支援など子育て環境	8 子どもの小学校・中学校への通学
9 小学校・中学校における教育環境	10 子どもの高校や工業高等専門学校への通学
11 デイサービス、ショートステイ等の高齢者向けの福祉サービスの利用	12 仲間や友人と交流する場所
13 鉄道、バスなどの公共交通の利用	14 下水道や合併浄化槽など生活排水処理施設
15 その他 ()	

問8 周南市に愛着を感じていますか。(1つに○)

1 感じている	2 どちらかといえば感じている	3 どちらかといえば感じていない
4 感じていない	5 どちらともいえない	

問9 周南市は住みよいと思いますか。(1つに○)

1 住みよい	2 どちらかといえば住みよい	3 どちらかといえば住みにくい
4 住みにくい	5 どちらともいえない	

問10 これからも周南市に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

1 住み続けたい	2 どちらかといえば住み続けたい
3 どちらかといえば住み続けたくない	4 住み続けたくない
5 どちらともいえない	

問11 以下の項目について、あなたが感じている現在の「満足度」と今後の生活にとっての「重要度」を教えてください。(各項目の満足度と重要度について、それぞれあてはまるもの1つに○)

項 目	現在の満足度は？					今後の重要度は？				
	満 足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不 満	重 要	やや重要	どちらともいえない	重要あまりではない	重要ではない
例 ●●●の整備 ※記載例です。	①	2	3	4	5	1	②	3	4	5
1. 少子化対策や子育て支援の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2. 幼児教育や義務教育などの充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3. 青少年の健全育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4. 周南公立大学や徳山高専等との連携	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5. 生涯学習の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

項 目	現在の満足度は？					今後の重要度は？				
	満 足	ま あ 満 足	ど ち ら と も い え な い	や や 不 満	不 満	重 要	や や 重 要	ど ち ら と も い え な い	重 要 あ ま り で は な い	重 要 で は な い
6. コミュニティ活動の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7. 文化・芸術活動の促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8. スポーツやレクリエーションの振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9. 観光の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
10. 国際交流など国際化への対応	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
11. 中心市街地の活性化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
12. 住環境の整備や土地区画整理事業の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
13. 空き家や空き地の利活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
14. 街並みや景観の形成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
15. 公園や緑地の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
16. 生活道路や幹線道路の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
17. 河川や水路の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
18. 上水道の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
19. 下水道・排水施設の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
20. バスや鉄道など公共交通の利便性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
21. 自然環境の保全・脱炭素への取組	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
22. 廃棄物処理対策やリサイクルの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
23. 母子・父子家庭等への福祉の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
24. 高齢者福祉の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
25. 障がい者福祉の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
26. 健康づくり活動の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
27. 病院等の医療体制の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
28. 消防・救急体制の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
29. 防災・減災体制の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
30. 防犯対策や交通安全対策の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
31. 行政相談・消費者相談体制の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
32. 農林業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

項 目	現在の満足度は？					今後の重要度は？				
	満 足	ま ぁ 満 足	ど ち ら と も い え ない	や や 不 満	不 満	重 要	や や 重 要	ど ち ら と も い え ない	重 要 だ り は ない	重 要 で は ない
33. 水産業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
34. 工業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
35. 商業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
36. 企業誘致の推進や起業への支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
37. 人材の育成と雇用の創出	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
38. デジタル化の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
39. 市政への参画や市民と行政の協働の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
40. 人権の尊重と男女共同参画の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
41. 行財政改革の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問12 問 11 の今後の重要度において、「1 重要」と回答した中から最も重要だと思う項目を3つ選んでください。(直接記入)

重要項目		

※例 問 11 で、重要度の高い上位3つを
「4. 周南公立大学や徳山高専等との連携」、
「21. 自然環境の保全・脱炭素への取組」、
「37. 人材の育成と雇用の創出」と考えている場合、
「4」「21」「37」の3つの番号を記入してください。

問13 周南市のまちづくりの総合的な満足度について教えてください。(1つに○)

	満 足	ま ぁ 満 足	ど ち ら と も い え ない	や や 不 満	不 満
周南市のまちづくりの総合的な満足度	1	2	3	4	5

3 今後のまちづくりを進めるにあたり、次のことをお伺いします。

問14 あなたが利用する情報通信機器・端末は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 テレビ	2 ラジオ
3 固定電話	4 FAX
5 スマートフォン	6 携帯電話(スマートフォン除く)
7 パソコン	8 タブレット型端末(iPad、Surface 等)
9 ウェアラブル端末(メガネ型・腕時計型など身体に装着する情報通信端末 等)	
10 インターネットに接続できるゲーム機(PlayStation、Nintendo Switch 等)	
11 その他 ()	

問15 デジタル技術の活用が期待される分野は何だと思いますか（あてはまるもの3つ以内に○）

分野	具体例
1 医療・健康	遠隔診療、健康診断の予約のオンライン化、健康管理 等
2 防災・防犯	防災・防犯マップの共有、災害時の救助・支援 等
3 行政手続き	各種申請・給付事務等の効率化 等
4 高齢者・障がい者福祉	見守り・安否確認、介護サポート、障がい者の移動支援 等
5 働き方改革	在宅勤務、オンライン会議、効率的・多様な働き方の実現 等
6 子育て	子育て情報の提供、母子手帳の電子化、保育施設における登園管理 等
7 道路・河川	道路・河川の監視システム 等
8 交通	交通系ICカード、デマンド交通 等
9 商業	無人レジ、キャッシュレス決済 等
10 観光振興	観光情報の提供、旅行者向けWi-Fi整備 等
11 学校教育・生涯学習	ICT教育、学校連絡窓口のオンライン化、遠隔授業・学習 等
12 スポーツ	スポーツの試合などのオンライン配信 等
13 文化	音楽発表会などのオンライン配信、次世代への文化継承 等
14 地域コミュニティ	地域におけるラインなどのSNS活用、電子回覧板 等
15 環境・エネルギー	省エネルギー対策 等
16 産業振興	生産性の向上、新ビジネスの創出、デジタル人材の育成 等
17 農林水産振興	センサー等を使った農水産物管理、ドローンの活用、ネット販売 等
18 デジタル化がよく分からない、関心がない	
19 その他（	）

問16 地球温暖化防止のため、あなたができそうな取組や、すで実践している取組は何ですか。

（あてはまるものすべてに○）

1 ZEH（エネルギー収支をゼロ以下にする住宅）等の導入	
2 省エネ家電の導入	3 太陽光パネルの設置
4 蓄電池の導入	5 節電、節水
6 コンポストの利用	7 省エネリフォーム（窓や壁などの断熱）
8 宅配サービスをできるだけ1回で受け取る	9 植林やごみ拾い等の環境保全活動への参加
10 電気、水素等の次世代自動車の導入	11 自転車等のCO ₂ が少ない交通手段の選択
12 その他（	）

問17 本市では、より一層効率的な市政運営や市民サービスの向上を図るため、行財政改革に積極的に取り組んでいます。あなたは、今後、何に重点的に取り組むべきと思いますか。

(あてはまるもの3つ以内に○)

1 財政健全化への取組	2 公共施設の見直し
3 民間活力の積極的活用	4 事業・事業手法の見直し
5 窓口等での相談・手続きのサービス向上	6 組織体制の最適化
7 職員の資質の向上	8 職員数・職員給与の適正化
9 その他 ()	

問18 この1年間に、以下の公共施設をどの程度利用しましたか？

(各施設で該当するもの1つだけに○)

施 設	よく利用した (年6回以上)	時々利用した (年5回以下)	利用しなかった
例 ●●●施設 (●▲■ 等) ※記載例です。	1	2	3
1. 市民交流施設 (市民センター (旧公民館)、コミュニティセンター 等)	1	2	3
2. 文化施設 (図書館、美術博物館、文化会館 等)	1	2	3
3. スポーツ施設 (体育館、運動場、プール 等)	1	2	3
4. 福祉施設 (福祉センター、デイサービスセンター、老人憩の家 等)	1	2	3
5. 保健衛生施設 (保健センター、市立病院、市立診療所 等)	1	2	3
6. 産業観光施設 (道の駅、温泉施設、動物園 等)	1	2	3
7. 公園や緑地 (都市公園、児童遊園 等)	1	2	3

問19 今後のまちづくりを進める上で、特にどの公共施設が重要だとお考えですか。

(あてはまるもの3つ以内に○)

施設	具体例
1 事務庁舎	本庁舎、総合支所、支所 等
2 市民交流施設	市民センター (旧公民館)、コミュニティセンター 等
3 学校関連施設	小学校、中学校、学校給食センター、大学 等
4 文化施設	図書館、美術博物館、文化会館 等
5 スポーツ施設	体育館、運動場、プール 等
6 こども関連施設	幼稚園、保育園、児童クラブ 等
7 福祉施設	福祉センター、デイサービスセンター、老人憩の家 等
8 保健衛生施設	保健センター、市立病院、市立診療所 等
9 産業観光施設	道の駅、温泉施設、動物園 等
10 公園や緑地	都市公園、児童遊園 等
11 消防防災施設	消防署、消防機庫 等
12 特にない	

- 1 利用者の少ない公共施設
- 2 旧市町ごとに設置されているなど、同じようなものが市内に複数ある公共施設
- 3 人件費を含めた管理運営費が高額な公共施設
- 4 管理運営費（支出）に対し、施設使用料（収入）の割合が低い公共施設
- 5 設置目的が限定的か、利用者が限定されている公共施設（多目的利用ができない施設）
- 6 民間の施設でも同様のサービスを受けることができる公共施設
- 7 その他（ ）

なお、Web（オンライン）でご回答された方は、調査票の返信は不要です。

周南市市民アンケート調査報告書

発行日 令和6年6月

発行者 周南市 企画部 企画課

〒745-8655 山口県周南市岐山通1丁目1番地

TEL:0834-22-8478 FAX:0834-22-8224